



シルバーだより

No. 310

平成 28 年 4 月 1 日

荒川シルバー大学

荒川区荒川 3-49-1

理事長 岡田 芳子

TEL 3801-5740

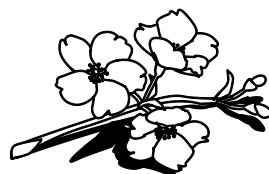
FAX 3801-5691

平成 28 年度の出発にあたって — 心も体も元気であり続けるために —

理事長 岡田 芳子

平成 28 年度が始まりました。昭和 59 年、初代水越理事長が創立した荒川シルバー大学は、33 周年となり歴史を重ね 900 名近い学生と講師でつくりあげています。

平成 27 年度の閉講式が 3 月 18 日に行われました。規約の改正により、卒業年数が 5 年となったため卒業生はおりません。3 月号でもふれられておりましたように、10 年間在籍者への奨励賞に加え、20 余年の在籍者に学長賞を、そして、30 余年在籍者には理事長賞を表彰致しました。その後、ホテルラングウッドにおいて、学生・講師による年度末交歓会を行いました。共に学ぶことの大切さ、共に生きることの喜び、“共に”そこに友がいる、そこに師がいる。自由な時間を共有し、元気な荒川区民でいることの幸せを感じた交歓会でした。



さて、平成 28 年 4 月 1 日付で新学長に木村國子先生が就任致しました。ご存知のように木村先生は、前副学長であり、「英語教室」の講師をしております。今年度からは学長としても、力量を発揮して頂きます。どうぞよろしくお願い致します。

そして、前学長望月公子先生には、副理事長として、さらに学長代行も務めていただき、引き続き「今と昔の町歩き教室」と「健康体操教室」の講師としてもご活躍頂きます。多様な役目ですが、望月先生の好奇心とアイデアと明るさが、学校全体を前向きにしてください。どうぞよろしくお願い致します。

春は出会いと別れの季節です。27 年度末で元学長でもあり「自然と小さな旅教室」講師の稲川君江先生がご勇退されました。自然の変化を楽しみ、健康の大切さを教えて下さいました。また、「水墨画教室」講師の結城天鼓先生もご勇退されました。墨だけで一筆の中に心の動きを表現する奥深さを教えて下さいました。ありがとうございました。今後も応援をお願い致します。

超高齢社会となった今、前向きでいればきっといいことに巡り合えると思います。友に師に会いに行きましょう。

《 平成 28 年度の募集を終えて 》

今年度の荒川シルバー大学の学生募集も、多くの方々のご協力が無事に終了しました。

その結果は、応募者総数が 898 名（内、新入生 108 名）、延べ人数では 1,372 名となりました。そこで私は、荒川区の人口ってどの位あるのかと思い、区役所に電話をして聞きましたら、今年の 2 月 1 日現在で、昨年より 2,302 人多い、総人口 211,889 人（男性 105,948 人、女性 105,941 人）との事。年齢別の割合も教えてくれましたので、60 歳以上の人を計算したところ、32,678 人でした。ですから 60 歳以上の人の、38.6 人に 1 人がシルバー大学の学生という事になります。

私もその中の一人として、11 年目になります。脳も筋肉と一緒に使わないと益々衰えるそうですから、今年は、やる気・根気・負けん気で再挑戦しますので、先生方のご指導、ご鞭撻の程、宜しくお願い申し上げます。

去る 3 月 8 日に、副理事長の宮澤健一さんが亡くなられました。

ご冥福をお祈り申し上げます。 合掌 （ 副事務局長 山口 俊幸 ）

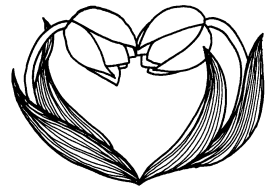
《 東日本大震災を振り返って 》

（3 月号よりの続き）

3 月 15 日の朝になって、今度はもっと西へ行かないとだめだということでした。町の職員がこの時初めてはっきり話したのが、原発の重大事故のために放射能に汚染されたために少しでも遠くに避難しなければならないのだ、という説明でした。中通り地方の二本松市の針道小学校の廃校になった体育館でしたから、暖房もなく又、あいにく夕方から雪になり床に段ボールを敷き毛布一枚で震えながら一夜を過ごしました。

5 日も過ぎてますから携帯の充電もなく繋がらなかったのですが、突然東京にいる息子から、16 日の朝迎えに行くと言が入り、何かこの時だけ繋がったのですね。

神様が繋げてくれたのだと飛び上がる程嬉しく思いました。



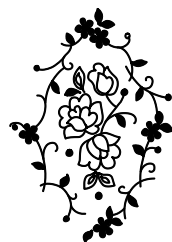
私達は息子のお陰で一晩で体育館を後にしましたが、後で聞くとところによると他の方達は、その体育館に 1 か月も居たと聞き、大変な苦労があったと思います。私達には息子三人と私の兄弟三人東京に居りますから、転々と泊り歩いている間に次男の嫁がインターネットで募集を知り、都庁に申し込んだところ、町屋の都営アパートが抽選で当たり、23 年 4 月 1 日から約 5 年近くお世話になりました。

当初、私達田舎者が大都会に出てきての生活なんてどんなものか不安でいっぱいでしたが、社協の皆様、ボランティアの皆様、そして町屋の皆様の温かいもてなし、また多大なる支援物資を何度も何度も頂き感謝感謝です。途方に暮れていた私達に元気を与えてくれた皆様方に心からお礼を申し上げます。

私達の区域は、平成 29 年 3 月帰宅解除準備区域となっておりますので、解除になることは間違いありません。でも帰宅しても生活は別なんです。お医者さんや買い物等々、高齢者にとってはなおのこと、そこで総合的に判断して息子達とも相談し、苦渋の選択ではありますけれど、住み馴れた町屋に最後の住家を求め、1 月 10 日引っ越しました。東京都民というよりは、荒川区民として、残りの人生を前向きに生きて行きたいと思っておりますので、どうぞ、私達田舎者を今後共よろしくお願い致します。

(福島県浪江町より避難 平成 28 年 2 月 15 日記 34 班 安部 世利子)

平成 27 年度 各受賞者名 (敬称略)



●理事長賞 (在学 30 余年) 4 名

荻部きよの 兼杉つぎ子 牧子婦美子 後藤八重子

●学長賞 (在学 20 余年) 35 名

白鳥登美子	大久保静江	山岸知子	小坂井康子	辻きよ
畠山英子	高橋ふさ子	海老原喜代子	加藤トミ	伊藤慶子
佐久間功子	伊東千代子	椎根八重子	小林宗子	川岸利雄
落合静子	豊田マス	佐藤恒子	関口久子	小宮よう子
大塚とき子	鈴木ふみ	奥出信子	布施博子	川村和子
有賀八重子	中川シズエ	菅原房子	金子幸枝	山本菊枝
篠沢欣子	瀧澤百合子	荒瀬嘉子	石塚美江子	伊藤美代子

●奨励賞 (在学 10 年) 33 名

山口俊章	藤田静江	柴崎和子	金光花子	斉藤昭子
井口和子	山本喜一	高橋トシ子	白澤英子	和地みちよ
小倉智恵子	志村初枝	若井二三子	酒井倫夫	高山修
中野俱子	伊藤弘子	佐藤康子	松崎マリ子	西村悦
小林潤也	松本光章	森秀太郎	渡辺テル子	大和田晴子
荒牧ミドリ	安西昌子	水戸部レエ子	今井智枝子	遠藤静子
篠崎節江	三浦勇伯	高木せつ子		

●感謝状 4 名

結城天鼓 (前水墨画教室講師) 稲川君江 (前自然と小さな旅教室講師)
山岸知子 (前東日暮里地区長) 藤原 晃 (前荒川地区長)

4月の行事予定



15日（金）	平成28年度 開講・入学式	
一部	1. 開式のことば	1. 新入生誓いの言葉
	1. 敬礼	1. 校歌斉唱
	1. 理事長挨拶	1. 閉式のことば
	1. 学長式辞	1. 敬礼
	1. 来賓祝辞・紹介	二部 1. 講師の紹介・挨拶
	1. 新入生紹介	1. 班編成と役員紹介
		1. 新入生写真撮影
会場：サンパール荒川 1階 大ホール 開式：午後2時		

◆◆◆◆◆ 学 園 日 誌 〈3月〉 ◆◆◆◆◆

- | | | | |
|-----|-----------------------------|-----|----------------------------|
| 2日 | 役員会(募集申込み状況、閉講式について他) | 18日 | 平成27年度閉講式
第23回奨励賞受賞者35名 |
| 4日 | ムーブ町屋閉講式打合せ | | 第1回学長賞受賞者33名 |
| 14日 | 講師会 | | 第1回理事長賞受賞者4名 |
| 14日 | 国旗・校旗・徽章・式次第
横断幕準備確認 | 22日 | 広報委員会 |
| 16日 | 奨励賞・学長賞・理事長賞式
出欠確認(地区・班) | 29日 | 28年度「学校案内」印刷 |
| | | 30日 | 四役他会議 |
| | | 30日 | シルバーだより310号作成 |

※ 事務局だより ※

- ① 役員会：4月6日（水）の配付書類・・・「学校案内」・「開講・入学式のご案内」・「ファイル」・「保存袋」・「シルバーだより4月号」（規約・名簿は5月配付）
- ② 開講・入学式：4月15日（金）の持ち物
1. 「学校案内」・・・式典には必携・校歌斉唱に要す
 2. 「開講・入学式のご案内」・・・新入生（桜色）・在校生（白色）ハガキ大
- 受講生の皆様へ：大切なお知らせは毎月この誌面に掲載致します。お見逃しなく！
- （事務所） TEL 03-3801-5740 FAX 03-3801-5691
- （ホームページアドレス） <http://www.arakawa-silver.com/> 室長 田原



シルバーだより

No. 311
平成 28 年 5 月 1 日
荒川シルバー大学
荒川区荒川 3-49-1
理事長 岡田芳子
TEL 3801-5740
FAX 3801-5691

— 荒川シルバー大学の魅力 —

学 長 木村 國子

桜から若葉へ、爽やかな季節となりました。

平成 28 年度荒川シルバー大学開講・入学式から約 2 週間が経ち、どのクラスも新年度の計画を立て、期待と意欲を持って活動を始めたことでしょう。

4 月 15 日の開講・入学式には、114 名の新入生がシルバー大学の学生として、希望に満ちた輝かしいスタートを切りました。今年は、実数 902 名(延べ人数 1377 名)、講師 33 名、助手 9 名、教室数 37 の構成で新年度が始まりました。このように多くの方々が入学し、また入学後も長年にわたって在籍し、学び続ける本校の魅力とは何でしょう？

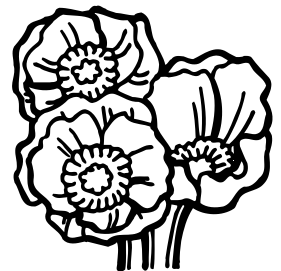
そう、荒川シルバー大学には、他のどこにも無い素晴らしい魅力があるのです。

まず第一に、60 歳を過ぎ、意欲さえあれば、誰でも入れる。

試験やテスト無し！

第二に、その気持ちさえあれば、何年でも学べる。落第無し！

実際に、昨年度の閉講式では、10 年在校生 33 名、20 年～29 年在校生 35 名、30 年以上の在籍で 90 歳を超えた学生 4 名が表彰され、今でも元気いっぱい学習している。



第三に、日時さえ合えば、自分の選択で何クラスでも選べる。月曜日から土曜日まで毎日通学し、授業を楽しんでいる人もいます。まさに、生涯学習の実践と言えよう。

第四に、授業料が安い。年間 1 クラス 5 千円から 7 千円。何クラス所属しても運営費年間 7 千円。これは、安くお教室が借りられ、講師の方々のボランティア、ご奉仕による所も大きい。

第五に、優秀な講師が揃っている。

第六に、運営は学生が中心に行っている。自主自立の精神を持つ学生が多い。

このような特色を持つ大学は、東京いや日本にも数少ないでしょう。皆さんは、このような大学で共に学び、多くの人と知り合い、喜びを分かち合えるのです。

これからも、知、情、感、に磨きをかけて、前向きに、楽しい人生を掴んでいきましょう。そうです、待つのではなく、自分で掴むのです。

皆さんのこれからの人生に乾杯！

～ 3 月 18 日の閉講式における各受賞者の謝辞を掲載します ～

奨励賞謝辞

日ごとに暖かさを増し、春がやってまいりました。10 年ひと昔と申しますが、入学しましてから早 10 年の月日が流れました。

シルバー大学での学習、人と人とのつながりは、私の人生に学ぶ喜びと広い視野を与えて下さいましたことを感謝しております。

世の中の動き、地域社会の大切さも、沢山勉強させて頂きました。

これからも皆さんと共にシルバー大学で学んでいきたいと思っております。本日は奨励賞を賜り、誠にありがとうございました。

受賞者 33 名代表 1 班 山口俊章

学長賞謝辞

ただ今は、身に余る表彰状をいただきまして感激しております。シルバー大学に入学して 20 余年、あっという間のような気が致します。

その間、複数教室で学びました。どの教室の講師の先生もあたたかいまなざしでご指導下さいました。そして、そこに集う学生は同年代で、人生を語り共に学ぶことを楽しみ合いました。何よりも、こうして学び続けた自分を、健康をありがたいと思いました。

これからは、30 年の理事長賞を目標に、好奇心を持って学び続ける所存です。本日は誠にありがとうございました。

受賞者 35 名代表 42 班 瀧澤百合子

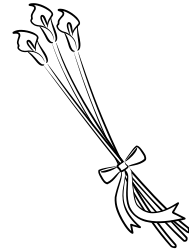
理事長賞謝辞

このたび 30 年の理事長賞をいただきました。先生方には感謝とお礼を申し上げます。荒川シルバー大学は、生徒数約 900 名で日本一とのこと。そこに 30 年の間在籍することが出来ました。本当にありがたく幸せに思います。

お陰様で私は 95 歳の今日まで、若い人たちと一緒に勉強したり、旅行や催し物に出席したりと、楽しく張り合いのある人生を過ごしております。シルバー大学は、私の生き甲斐です。

本日は誠にありがとうございました。

受賞者 4 名代表 42 班 後藤八重子



この度は、思いがけず感謝状・学長賞という立派な賞を戴き、ありがとうございました。

ある年までは普通の主婦で、3人の子育てと、舅、姑、主人を見送り、ひとりになって「さあ、これからどうしよう！」と考えていた時、友人よりシルバー大学の存在を知りました。各教室や楽しい旅行でお世話になり、色々勉強する事も多く、今日まで夢中で過ごしてきました。

現在は、孫が5人、ひ孫も4人となり、米寿も過ぎて身体の老いを実感する事も多くなり、周りの方々にご迷惑をおかけしては…と思い、地区長を辞退させて頂く事となりました。

今まで、諸先生方、事務局の方々に大変お世話になりました。本当にありがとうございました。これからもお教室でお世話になりますが、よろしくご指導の程お願い致します。
(前東日暮里地区長 山岸 知子)

《 27年度 年度末交歓会報告 》

創立30周年記念懇親会から約3年、年度初めには計画になかった大きな行事、年度末交歓会が3月18日に実施されました。3月は各教室での食事会等で当初参加者は100名程度と予想していたところ、予約した会場の舞台を撤去してテーブルを増設しなければならない程、168名の参加となりました。

準備時間があった30周年では198名でしたので、僅かの時間でこれだけ多くの参加者は想定外でした。しかし、最も楽しみにしていた食事が会場となったホテルらしからぬ内容で、交渉していた我々も驚いています。現在、納得できる説明を求めているところです。

舞台がなかった関係で、○×問題や三択問題をテーブル対抗戦で行いました。望月前学長より、「これからも参加したいと思えるような、面白いゲームを考えて欲しい」と言われていましたが、いかがでしたでしょうか？

(企画部 高橋 建司)

《 閉講式・交歓会に参加して 》

平成27年度の閉講式では、30年以上在籍の学生への理事長賞、20年以上在籍の学生への学長賞、10年間在籍の学生への奨励賞、更にお辞めになる講師の先生と役員の方への感謝状の授与がなされました。大勢の立派な人達の式でした。

各賞の代表の方々がそれぞれの辞(ことば)を読みあげて下さいました。読んでいる人達の心の思いが伝わってきました。長い間色々とお世話になり、心から感謝の気持ちで聞きました。皆様方全員、私と同じ気持ちで聞いておられる表情がうかがえました。

その後、表彰者を祝う会に大勢の人達が出席されました。司会の高橋先生が、会を盛り上げる為に、色々ゲーム等を考えて下さったので、食べ物は貧しかったけれど、歌あり踊りありの楽しい交歓会でした。良い思い出が出来たことでしょう。皆さん、30年の理事長賞を目指して、これからもがんばりましょう！

(頭の体操教室代表 関 夏子)

「シルバーだより」に対するご希望、ご感想、ご意見等を随時受け付けます。
よろしくお願い致します。（広報部）

5 月 の 行 事 予 定

期日	行 事	講師プロフィール
20 日 (金)	平成 28 年度 第一回合同講義 今輝く! 「やり直しの人生」 講師：甲野恵美 先生	・元小学校長 ・新宿区教育委員会 非常勤 国際理解教室 ・ N P O 外国人児童生徒の学習支 援・居場所づくり ・人権擁護委員委嘱 ・地域ふれあい協力員
会場：サンパール荒川 三階 時間：午後 2 時より（無料）		

◆◆◆◆◆ 学 園 日 誌 (4 月) ◆◆◆◆◆

- | | |
|---|----------------------|
| 6 日 役員会：学校案内・開講式
のご案内他 配付 | 18 日 広報委員会 |
| 15 日 平成 28 年度開講・入学式
在籍総数 902 名(内新入生 114 名) | 21 日 予算委員会 |
| | 22 日 規約・名簿作成 印刷へ |
| | 28 日 シルバーだより 311 号作成 |

※事務局だより※

1. 講義及び講座開始の件：日時・会場は学校案内書類・日程表または学校の掲示板をよく見て確認して下さい。又教室使用後の掃除、戸締りを確実にを行い、教室で出たゴミは責任を持って各自お持ち帰りください。
2. 教室使用手続き時間の件：生涯学習センター窓口へ
【使用承認書の提出時間】午前教室：9 時 30 分～、午後教室：12 時 20 分～。
【終了後の鍵他の返納時間】午前教室：12 時まで、午後教室：3 時まで
※時間厳守の上、速やかをお願いします。
3. 教室について
・今と昔の町歩き教室について：5 月 13 日（金）の会場は大会議室です。
・おしゃれニット・木曜教室について：5 月 26 日（木）は午後Ⅰの講義です。
（日程等書類に一部誤りがございました。訂正してお詫び申し上げます。）
・英語教室変更について：5 月は 27 日（金）のみとなります。
（5 月 13 日分の分は 6 月 3 日第三・第四会議室に変更となります。）

荒川シルバー大学【事務所】開所時間のご案内

（月～金曜日）午前 9 時 30 分～午後 4 時

※土日祝祭日はお休みです。

（事務所）TEL3801-5740 FAX3801-5691

（ホームページ）<http://www.arakawa-silver.com/>



室長：田原



シルバーだより

No. 312
平成 28 年 6 月 1 日
荒川シルバー大学
荒川区荒川 3-49-1
理事長 岡田芳子
TEL 3801-5740
FAX 3801-5691

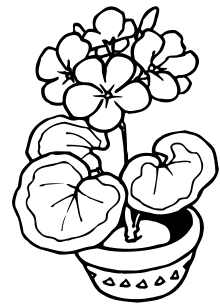
— 「今」を大切に生きる —

名誉学長 原田 治子

築 15 年も経てば家屋や、共に暮してきた日用品にも様々な不具合が出てくる。屋根の塗装、外壁の手入れ、クーラーや洗濯機。身の回りの品々もいつしか消えていった。鶴の文様が刻まれた置き時計、使い馴れた万年筆、木製の大きな状差し…。

2 か月ほど前のこと、大きな鏡とセットになっている洗面所の流し台が水漏れして、脱衣所の床がびしょびしょ。新しい物と交換に来た若い職人さんが「ていねいに使ったから長持ちしましたね。でも寿命ですよ」と。極く当たり前話なのに、この言葉が妙にひっかかった。

80 歳を過ぎた頃から体力の衰えを感じるようになった。ここ 1 年は生活にも支障が出てきた。耳には、まるでトンネルを通過した時のような圧力感。視力はぐんと落ち、頭と脚が連動しているかのようにふらつき、外歩きも億劫になった。眼科や耳鼻科で診察を受けたが異常なし。みんな年齢のせいだと思っているのだろう。しかしこの状態はつらい。きっと脳の障害だろう。



3 月のある日、脳の MRI を撮りに行った。結果の診断を受けに診察室に入ると、優しい目をした中年の医師が出来上がったばかりの映像を広げて待っていた。

「きれいな脳ですよ。血栓なし、萎縮もしていません。心配ありません」と。

「それではどこを調べればいいのでしょうか?」「そんなに探さなくてもいいですよ。神経質にならずにおだいじに」。

いつものように机に向かったその夜、脳に異常なしの診断に安堵しながらも、医師と若い職人さんの言葉が重なってきた。神経質になって探さなくてもいい、ていねいに使ったから長持ちした。どちらも古くなれば支障が出てくると言っているのだ。人間にも物にも終わりがある。当たり前なことだ。しかし、建物や日用品と、人間の尊い生命の寿命を結びつけることはできない。「もうお年ですから」に惑わされてはいけない。寿命の到達点までどれほどあるか先のことは分からない。はっきりしているのは、戻ることのない「今」がいかに大切な時空であるかということ。

3 月 18 日閉講式。30 年余を在学し学び続けた 4 名、20 年余 35 名が、それぞれ理事長賞、学長賞を受けた。戦中戦後の激動の中で、苦難な時を生き抜いてきた方々の「今」。凜として何と美しい姿だ。人間の不滅を証している。熱いものが込み上げてきて、「今を大切に生きるということはこれだ」とわが身に言いきかせた。

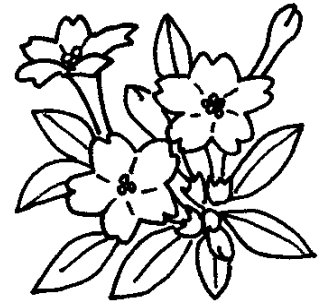
《 開講・入学式 ― 新しい仲間を迎えて ― 》

企画部長・折り紙絵本教室講師 石崎 恵子

4月15日、サンパール荒川大ホールにて、平成28年度開講・入学式が挙行されました。今年の新入生は122名、受講生・講師913名での出発です。

理事長、学長、ご来賓の方々から祝福を受けた後、新入生（この日の出席は77名）は、その場で一人ひとりお立ちいただいて、会場の皆さんにお名前と共に紹介されました。南千住地区の柳正枝さんが新入生を代表し、誓いの言葉を堂々と読み上げて下さいました。

理事長の話にもありましたが、荒川シルバー大学は、財政面でも内容面でも所属する皆さんの手で主体的に運営されている学校です。単に教室で講義を受けるだけでなく、みんなで作り上げる学校行事としての学園祭、学芸会、合同講義、研修旅行等にも積極的に参加する姿勢を忘れないでほしいと思います。校歌の歌詞にあるように「人と人との和の花」を咲かせる活動の一つでもあるのですから。



新入生は最後に集合写真を撮りました。望月学長代行はおっしゃいました。「皆さんはこれからずっと同期生なのですから」と。

第二部では、教科を担当する講師・助手、運営を中心になって支える班長、地区長、常任理事が紹介されました。

この日も、午後2時に始まる式のため10時から会場に集合して準備にあたる役員の姿がありました。この1年間すべての受講生に、学びと喜びの日々が豊かにありますようお願いしています。

《 開講・入学式 ご来賓の祝辞紹介 》

ご多忙にもかかわらず13名の方のご出席を賜りました。3名の方からお言葉を頂きましたので紹介致します。
(広報部)

荒川区副区長 北川嘉昭氏

昭和59年設立後、長きにわたり荒川の地に根を下ろし、続けてこられた意欲と向上心に心から敬意を表します。厚生労働省や国立医療研究所などの、1992年と2002年の比較統計調査によると、この10年間に肉体的にも知能的にも10歳若がえっているそうです。年齢を聞かれたら10歳若く答えて下さい。自信を持ってください。

皆さんにお願いです。①これからも大学を続けて下さい。無理をしない程度に。②目標を作ってください。目標が達せられると気持ちがいいです。③友人・話し相手を増やして下さい。チームワークを築いて下さい。

荒川区議会議員 斎藤泰紀氏

「シルバーだより」を毎月発行されていることは本当に素晴らしいことです。特に平成27年6月の300号で『今の私は人生の午後』と書かれていたのが印象

に残っています。皆さんが午後であるなら、私は昼頃かと思いました。

サンパール荒川と来年3月オープンの「ゆいの森」は、荒川区の芸術と文化の殿堂となるでしょう。

荒川警察署長 坂本俊介氏

充実した学生生活を送るため、オレオレ詐欺や振り込め詐欺に気をつけてください。また高齢者が自転車にかかわる事故も増えています。時間にゆとりを持って外出をしましょう。

開講式にご出席頂いたご来賓の方々 (敬称略)

荒川区副区長 北川嘉昭、荒川区議会議員 斎藤泰紀
荒川区議会副議長 保坂正仁、荒川区議会議員 藤澤志光
警視庁荒川警察署長 坂本俊介、荒川区教育委員会教育長 高梨博和
荒川区教育委員会教育部長 阿部忠資、荒川区福祉部長 片岡孝
荒川区地域文化スポーツ部長 池田洋子、地域文化スポーツ部生涯学習課長 北村美紀子、荒川区社会福祉協議会会長 三嶋重信、荒川区社会福祉協議会事務局長 谷嶋弘、銀座プラネットサービス 満武誠

教室だより

《 音楽教室 》

音楽教室講師 飯島 純子

「長寿のための生活習慣」というある記事を読みました。米国の研究データが紹介されていて、合唱団に入っている人はそうでない人に比べて長生きする傾向にあり、心臓やメンタルの健康が増進されていたそうです。

音楽教室では、年間に5曲ほどの二部合唱に取り組み、少しずつ曲を仕上げていき学芸会に向けてがんばっています。その他、毎回声ならしやウォーミングアップを兼ねてパートナー・ソング（違う歌を重ねて同時に歌う…



これがちょっと楽しいんです。例：「夕やけ小やけ」と「どんぐりころころ」等）や、「ドナ・ノービス・パーチェム」などの輪唱を歌っています。

毎年課題曲は何かテーマを決めて選曲してきました。「花」「愛」「海」「街」などのお題を決めて選んできました。またその中でも「百万本のバラ」「あなたの心に」「さが野の尼寺」などは数回にわたって取り上げて歌っているので、音楽教室の財産になりつつあります。

今期はシャンソンを中心に歌っています。かつて高英男さん・芦野宏さん・岸洋子さんなどの歌で1950～60年代頃日本でもシャンソンが広く親しまれる様になりました。ロマンに満ちた美しい歌を今年合唱にしています。

音楽教室は今年男性が6人に増えたので、少し混声合唱が出来るかと期待しています。異なる音程のパートを合わせて今年も皆さんと素敵なハーモニーを楽しくつくっていききたいと思います。

27 年度交歓会について

「学生の皆様へ」 5 月 11 日の役員会でご報告致しましたように、ホテルラングウッドと理事長・前学長・実行委員会一同の文書と「レストラン特別ご招待券」¥1000×2 枚を同封し、平成 27 年度在籍した教室代表へお渡ししました。お受け取りくださいましたでしょうか。不明な点ございましたら、実行委員会または事務所へお知らせください。

6 月 の 行 事 予 定

期 日	行 事 内 容	講 師
6 月 17 日 (金)	<u>平成 28 年度 第二回 合同講義</u> 住民の幸福実感向上と自治体の役割 ～トップランナーとしての荒川区の取り組み～	東京都特別区長会会長 荒川区長 西川太一郎様
会場：サンパール荒川 小ホール 時間：午後 2 時より（開場：1 時 30 分）		

◆◆◆ 学園日誌 5 月 ◆◆◆

- | | | | |
|------|----------------|------|-----------------|
| 11 日 | 常任理事会・役員会 | 20 日 | 会計監査 |
| | 規約・名簿配付他 | 20 日 | 第一回合同講義・甲野恵美先生 |
| 11 日 | 熊本地震義援金募金開始 | | 今輝く！「やり直しの人生」 |
| 16 日 | 広報委員会 | 24 日 | 広報委員会 |
| 17 日 | 講義打合せ（サンパール荒川） | 26 日 | シルバーだより 312 号作成 |

※事務局だより※

1. お願い：冷房使用の季節となります。各教室代表の方は教室終了後、以下の項目を必ずご確認ください。

①冷房のスイッチ ②戸締り ③忘れ物 ④ごみのチェック

2. 役員一覧について：7 月の役員会後に各地域の班長さんより会員全員の方へ配付されます。「規約・名簿」の 8 頁に貼って下さい。

TEL3801-5740 FAX3801-5691

(ホームページ) <http://www.arakawa-silver.com/>



室長・田原



シルバーだより

No. 313

平成 28 年 7 月 1 日

荒川シルバー大学

荒川区荒川 3-49-1

理事長 岡田芳子

TEL 3801-5740

FAX 3801-5691

— 荒川シルバー大学は もう一步前へ進みます —

学長代行 望月 公子

新聞やテレビを見ていると、世界は大きく波打っていることに気づかされます。特に日本人の活躍は多くの分野にまたがっていて自分のことのように誇らしく思われます。

この 1 か月の間にも、イチローが『日米通算安打歴代記録 1 位達成!』、又、森田教授のグループが発見した新元素 113 番が日本国を意味する『ニホニウム』と命名され、世界中の教科書に載るようになった等、枚挙にいとまがありません。

一方国内では、熊本地震があり、現在でも予断が許されない状況です。理事長の提案で被災された方々への募金を各教室を通して進めて頂いたところ、短期間にも関わらず 33 万 6220 円が集まりましたので、6 月 14 日に理事長・学長と共に荒川区を通して被災地に届けて頂くようお願いして参りました。なお日程の関係で募金が終わっていない教室につきましては、改めて届けに参ります。遅くなりましたが、ご協力頂いた学生・講師の皆様にご心より感謝申し上げます。

6 月 17 日に開催した、第 2 回合同講義では、荒川区長西川太一郎様から、シルバー大学への期待と励ましの言葉を頂きました。更に、23 区の先駆けとして変貌しつつある荒川区の現状を、ユーモアを混ぜながら説明して下さい、分かりやすく迫力ある講義に会場は熱気に満ちていました。

私たちシルバー大学は、創立以来 32 年間、一貫して区民である学生が直接企画・運営にあたっています。これは、全国でも珍しい開けた組織です。この組織をもっとしっかりしたものとする為に、6 月の役員会で【地区長・班長会】と【教室代表会】という 2 つの組織を立ち上げました。目的は、学生間のつながりを深めると同時に、災害時の対処、各教室間の連携、910 余名在籍する学生の「生の声を生かす」など、大学のエネルギー増強です。

今後は、開講・入学式、閉講・卒業式、3 回の合同講義、年度末交歓会、各代表会、合同代表会など、役員会と共に、学生間の交流を活発にするような仕事を進めていくこととなります。

世界で活躍している人達のように、更に一步踏み出したシルバー大学を学生全員で支えて下さるようお願い致します。



《 ホクロ 》

前水墨画教室講師 結城 天鼓

18年間シルバー大学の講師として三河島の駅からトコトコ歩いた日々は、平凡で何事もなかった、ありがたいと書いたら「飛ぶ鳥跡を濁さず」になるが、事実はそんな簡単なものではなかった。



「シルバー大学の講師になりませんか」と電話が入った時、私は脳梗塞で左半身不随で、リハビリの最中でした。「先生の生徒だった人が高齢の為引退したので後釜に」との話。責任の一端もあるなァと引き受ける事にした。でも平衡感覚がおかしく「めまい」「ふらつき」があった。それで妻の照鼓に付き添ってもらう事にした。どうしても無理だと思った時は、生徒さんの許可を得て10分間ほど長椅子に横になってから授業を再開した。

その頃の生徒さんは、ほとんど男の方でした。「あれも教えてくれ、これも」と要望があり、大きな半切の掛軸を制作した事もありました。生徒から次々と質問がとぶ。まるで美術学校のようにでした。でもそんな風景は長く続かなかった。やがてメンバーも変り雰囲気も変った。

こんな生徒もおった。「私は見てて憶えるから描かない」と言って、他の生徒が真剣に練習している間を歩き廻って「こうした方がいい」と言い、私の教え方と違う事を言いながらウロウロしている生徒がいた。腹が立ったがぐっとガマンした。又、別の生徒は私の手本を見て「これ前にやりました」と言ったので、「じゃ、第一筆（始筆）はどこから描きましたか？」と質問したら「そんなもの憶えていない」と答えた。水墨画にとって第一筆は大切に重要なものです。私はガッカリした。嫌になった。でも「物は考えよう」だ。この二つの黒点は色白の美人の頬に出来た小さなホクロのようなものじゃないか。

結局シルバー大学の18年間は有意義な時間だった事に間違いはない。歴代の理事長、学長、他の講師や生徒にも感謝している。 ありがとう。

～ 5月の講義 今輝く！「やり直しの人生」を聞いて ～

講師 甲野恵美先生

5月20日 平成28年度第1回目の合同講義が行われました。

甲野先生は人権擁護委員として、地域ふれあい協力員として多方面でご活躍中です。人権とは人が生まれながらに持っている権利、人が人として平等に生きられる権利です。その権利を守る応援をしようというのが擁護員のお仕事です。今回は、活動の中で体験した貴重なお話を伺うことが出来ました。

●ハンセン病について；ハンセン病とは、らい菌に感染することで起こる病気。末梢神経や皮膚が侵され、いろいろな症状があらわれる為、人里離れた山奥の療養所に強制隔離。想像を絶する長年の苦しみを受けた。現在は薬プロミンが発見され感染の恐れはなくなった。然し偏見、差別は変わらず患者・元患者は名誉回復を図るため、運動を進め1996（平成8）らい予防法廃止裁判で勝訴。2007（平成19）東村山多摩全生園（療養所）に「国立ハンセン病資料館」が開館。負の遺産だが語り継いでいかなければと結ばれました。

●山崎康成さんの場合；1960 年生まれ。アメリカ留学中（19 歳）に転落事故に遭い脊髄損傷。車椅子生活になる。バルセロナ五輪パラリンピックに水泳選手として出場、6 位。障害者に対するアメリカと日本の違いを痛感。身障者関連機器輸入の会社を設立、身障者スポーツの発展に努めている。

●仁藤夢乃さんの場合；1989 年生まれ。難民高校生だった。月 25 日は夕方から深夜まで渋谷で過ごした。声を掛けてくるのは援助交際が目的の男達。高校中退後、農業・国際活動に触れ、明治学院大学に進学。居場所のない高校生、性的搾取の対象になりやすい女子高生を支援する活動をしている。



シルバー大学の皆さんは60歳を過ぎて、更に学ぶこと、趣味を広げること、そして仲間をつくることを実践しています。なんと素晴らしいことでしょう。（広報部）

「和食」の 4 つの特徴 料理教室講師 立川 禮子

- ① 多様で新鮮な食材とその持ち味の特徴を尊重する
山海、四季の食材を使用、味を引き出す、引き立たせる工夫
- ② 栄養バランスにすぐれ、健康的な食生活 → 肥満防止
米、みそ汁、魚、野菜、山菜、発酵調味料の組み合わせ
- ③ 自然の美しさ、季節の移ろいを食器等、膳の上で表現する方法の
発達（花や葉のあしらい等）
- ④ 年中行事との密接なかかわり、祝い事、祭り、寄り合い等、人の
集まる場所の中心は和食。地域、家族の絆を深める役割

教室だより

《《 気功教室 》》

原先生と共に12年目を迎え、53名（新人17名）と始動しました。

気功教室は、調心・調息・調身の3原則をもとに練功します。基礎知識として、人間の関連性は5つに分けられる。陰陽五行説の関係を学びます。そして病気になるないように、予防法を学びます。目には見えない「気」を高めて、健康の維持・増進、老化の防止になると信じ、自分の体力や体調に合わせて、無理なく続けたいと思います。

目の予防は、眉を指押しし、手の合谷の押し方、爪押しの仕方など、テレビを見乍らでもできる事を覚えめました。豊かな老後の話題性になっています。

12年前に階段から落下。リハビリに良いと、シルバー大学の気功に入講して良くなり、輪おどりの新設と共に楽しんで来ましたが、昨年自転車で2度も転んで、現在は又気功でリハビリしています。無理せず椅子に掛けたりしてやっています。

まだ間に合います。ご一緒に気功をしませんか。80名まで募集です。健康で長生きの為に、元気・勇気・やる気を出して頑張りましょう。

（ 気功教室代表 中澤 玉枝 ）

《《 うめぼしのうた 》》

歌声クラブ教室講師 本田 晴子

梅の実の熟す季節がやってきた。ついこの間、花を愛でたばかりなのに、時のめぐりは早い。今から6年前「ひらけ、ポンキッキ」という子供番組でこの曲を知った。体操も付いていて歌って踊って楽しめるものであった。

「2月3月花ざかり…」で始まり「5月6月、実が成れば枝からふるい落とされて、近所の街へと持ち出され何升何合はかり売り、もとよりすっぱいこのからだ、塩につかってからくなり、しそにつかって赤くなる、うめぼしのうた」そうやって「生涯」をうたっていく。



何とも味わいのある詩だが、明治時代の教科書に載っていたというから驚きである。すでにご存知の方もおられるであろう。この詩に曲がついたのは2000年。16年前である。災害時に備えた家庭の食料備蓄リストに入れても良いだろう。一粒口に入ただけでも元気が出る。

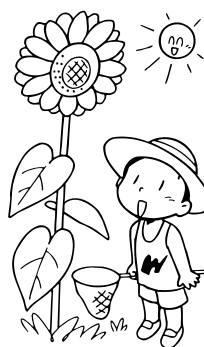
「海や山にもついて行く、運動会にもついて行く。まして戦さのその時は、なくてはならないこのわたし。うめぼしのうた」。歌声クラブ、新曲に挑戦いたします。

《《 頭の体操教室 》》

頭の体操教室講師 水越 絹代

脳科学が発達してきた現代では、「年とってきたから覚えが悪くて」という言い訳は通用しなくなっています。年をとったからではなく、覚える努力をしていないだけのことなのだそうです。

とはいうものの、新しいことを覚えるのは中々大変なことです。そこで頭の体操教室では、簡単な読み・書き・計算をすることによって、脳に油を注ぎスムーズに動かそうと試みています。毎回色々な問題に取り組み、また指運動やゲームや笑いなども取り入れ、楽しみながら脳を鍛え続けて、早くも10年目に入りました。



授業中のお教室では、生徒さん同士で教え合っている姿があちらこちらで見られ、ほほえましくも頼もしく感じられます。人に教えることによって自分の理解もより深まっていくからです。

毎年授業に取り入れている『インド式算数』ですが、今年は、2桁×99や3桁×999というかけ算でも瞬時に答えが出てしまうという計算方法を勉強しています。やり方さえ理解できれば、本当に誰にでも簡単に答えが出せます。

もし、答えの出し方をお知りになりたい方は、お近くの頭の体操教室の生徒さんにお聞きになってみてはいかがでしょうか！

《《 朗読教室 》》

朗読教室は、池田洋子先生のもとに、木曜日午前クラス・午後クラスに分かれて学習しています。朗読は、言葉を声に出して伝えたい作品を聴いて下さる人に届ける役目をしています。人と人とをつなぐ綾の力だと思います。

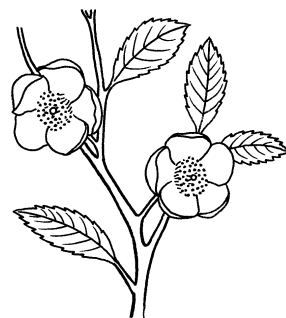
学んでいる内容は、発音の基礎からはじまります。声の高い低い、読む速度、文章の意味を考えながら、目をつぶっていても情景が浮かぶような読み方、他に沢山あります。色々な作品に出合う事も楽しみの一つです。新しい発見と文章の奥深さを感じる喜びもあります。

9月には、研修日帰りバスハイクで山梨方面へ文学散策の予定もあります。11月には、学習の成果を全員で発表出来る学習発表会をサンパール荒川の小ホールで行う予定になっています。

自主トレーニングの場として「なごみの会」という小さな朗読会も回を重ねて14回が過ぎました。自由参加で自分の読みたい作品を選んで、先生の指導のもとで発表します。教室で聴けない、すばらしい発表に感動する限りです。

『継続は力なり』心身共に健康で楽しい仲間が沢山居る教室です。池田先生には、いつも感謝の気持ちでいっぱいです。いつ時の緊張が若さの秘訣かしらと思っております。先生は「いつも皆さんは、本番に強いからね」と、微笑んでいらっしやいます。

(朗読教室午前クラス 寺田千賀子)



《《 先生・教室についての紹介 》》

絵手紙A教室は、理事長である岡田芳子先生が講師を務めて下さいます。開講式、役員会等々、毎回挨拶をなさる先生ですが、教室ではざっくばらんなお話をして下さい、学生との距離を縮め、親切・丁寧にご指導頂き、2時間の授業が、アッと云う間に終了してしまいます。

岡田芳子先生にはいつも、絵手紙は大きく描く、下手でいいとご指導頂いております。私事ですが、岡田芳子先生の亡くなられたご主人、岡田直美先生が講師をなさっておられた時、「あんたは、自分の好きなように描けばいい」の一言で、絵手紙の時間を好きな絵を描いて楽しんでいる不肖な学生ですが、絵手紙を学ぶ意義は、同じ時間を共有する楽しさにあります。

教室の学生も、ひと山、ふた山を越えてきた人生の達人。気くばりと、おもいやりのある人達ばかりで、1か月2回の授業、それぞれの思いをいだいて、学んでゆく事の面白さ、そして学園祭での作品発表の嬉しさ、晩年にこんな至福の時間を過ごす事の出来る荒川シルバー大学の講師の先生方、事務局の方、役員、教室の皆さんに感謝しております。

(絵手紙A教室代表 宮向井芳江)



平成 28 年熊本地震災害義援金について

4 月 14 日発生した熊本地方を震源とする最大震度 7 の地震により大きな被害が出ております。この災害で被災された方々を支援したいとの呼びかけにより、当校では皆様から ¥336,220.- (6 月 14 日現在集計による) の義援金を集金させていただきました。このたび、理事長・学長・学長代行の三名が区長室へ赴き、日本赤十字社へお届け致しました。尚 6 月 14 日以降集金分の義援金につきましては引き続きお届けし、皆様に紙面にてご報告申し上げます。ご支援、誠にありがとうございました。(事務局)

◆◆◆ 学 園 日 誌 (6 月) ◆◆◆

1 日	常任理事会・役員会	17 日	第二回合同講義
	27 年度会計報告		住民の幸福実感向上と自治体の役割
	28 年度予算報告他講義		～トップランナーとしての荒川区の取り組み～
7 日	講義打合せ (サンパール荒川)		講師 荒川区長 西川太一郎様
7 日	高年者クラブ総会		
	(瀧澤事務局長出席)	20 日	広報部編集会議
14 日	熊本地震災害義援金届ける	29 日	シルバーだより 313 号作成

◆本年度より 8 月は「シルバーだより」を休刊と致します◆

※事務局だより※

1. 研修旅行について：紅葉の蔵王！飯坂りんご狩りと遠刈田温泉
期日：平成 28 年 10 月 26 日(水)～28 日(金) 宿泊先：さんさ亭
費用 41,500 円
※旅行代金を添えて、班長さんへ 7 月末までにお申し込みください。
2. 講師会について
日時：7 月 22 日(金) 午後 1 時～
会場：生涯学習センター 一階 第 1 会議室
3. 8 月の役員会について
日時：8 月 3 日(水) 午後 1 時 30 分～
① 学園祭の打ち合わせを行います。教室代表全員・地区役員全員の方のご出席をお願いします。
② 役員会終了後、地区役員(第四会議室)・教室代表(第五会議室)に分かれてお話し合いを致します。役員会に続きご出席ください。
4. 器楽教室について・・・申込用紙はシルバー事務所前に設置。
実施日時：8 月 1 日(月)・4 日(木)・8 日(月)の 3 回 午前 10 時～
会場：生涯学習センター 四階 音楽室 (費用 300 円は当日集金)
希望者は用紙にご記入の上お申し込みください。(締切日：7 月 14 日)



事 務 所 TEL3801-5740 FAX3801-5691

(ホームページ) <http://www.arakawa-silver.com/>

室長：田原



シルバーだより

No. 314
平成 28 年 9 月 1 日
荒川シルバー大学
荒川区荒川 3-49-1
理事長 岡田芳子
TEL 3801-5740
FAX 3801-5691

— 夏の思い出・三題 —

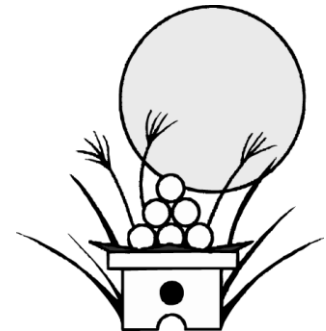
理事長 岡田 芳子

暑い夏を乗り越えましたが、まだまだ残暑厳しく体調を崩さないようゆったり生活致しましょう。この夏私が体験したこと三題を紹介させていただきます。

その 1・小さな旅

日常の生活からちょっと離れました。友人に誘われ、水と緑を求めて小さな旅をしました。コンコンと湧き出ずる水を眺めていますと心が洗われると同時に遠い昔を思い出しました。富士山の麓に疎開した子どもの頃、湧き水が生活のすべてに使われていました。この水は、溶岩や藻などにより浄化されているのです。

そして、緑の木々の足元にはエーデルワイス・ふうろうそう・ホタル袋・キンポウゲ等々豊かな自然に触れられたことは何よりの心の栄養でした。旅に出なくても、歩き慣れたお買い物時に別の道を歩いてみますと思わぬ発見があるかもしれません。



その 2・体験「器楽教室」

8月1日、4日、8日に思い思いの楽器をもちより器楽教室を行いました。鍵盤ハーモニカ・リコーダー・ギター・フルート・ハーモニカ・オカリナ・ウクレレ等々、「エーデルワイス」を完成させました。他にも、鉄腕アトムや少年時代を練習しました。さらに、365日の紙飛行機・長崎の鐘・森の水車等歌声を響かせました。24名の参加者は心をつにして奏でることの喜びを感じた三日間でした。

その 3・花火そして夏祭り

私は花火が大好きです。少し前までは現地まで花火大会を見に行きました。最近では帰りのことを考えるとテレビ視聴が一番となってしまいました。花火は風上から見るときれいに見えます。煙が流されるからです。花火ははかなさを感じながらもなんてきれいだろうと思うのです。

また、夏祭りも楽しみの一つです。区内のそれぞれの町会で盆おどりに縁日、子どもや大人、暑さはどこへやら笑顔いっぱいです。

皆さんはどんな夏でしたか。

9月もまだまだ暑い日が続くことでしょう。暑さに負けず友と共に学びを楽しみましょう。

6月9日、雨天の予報が嘘のように晴れ上がり、仲間たちの笑顔がはじけました。古河庭園での吟行には、田中京先生をはじめ20名が参加しました。

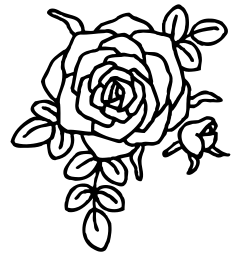
雨上がりの草いきれと共に大輪のバラの花からは甘い香りが立ち上り、雨露が花や葉の上に宝石のように転がり、木々の間に張った蜘蛛の巣もビーズをちりばめたようにきらきらと輝いていました。

庭園の隅の苔むした隠れ家のようなお茶室で、新緑に癒されながらお抹茶と干菓子を丁寧なおもてなしでいただき、至福の時を過ごすことができました。洋館の前で撮った記念写真は、皆若返って見えます。

すべてが大満足の日となりました。その時詠んだ皆さんの句をご披露いたします。

「初恋」の薔薇にどよめく人の波
 バラの香にいにしへ想ふ館かな
 バラの名の由来にひかれ時が過ぎ
 園丁の季節をつなぐばら手入れ
 「初恋」と付けられしバラほゝ染めて
 曇天を切りひらくかに夏つばめ
 大輪の薔薇の香立ちぬ雨上がり
 箏曲に踊る女の梅雨晴間
 園深く茶室静もる若葉雨
 あずまやの檜皮にふれし若楓
 雨上がり飛石づたひ苔青し
 花ざくろいと乱れつつ落ちにけり
 ばら一輪マリアカラスを名乗り立つ
 雲間より梅雨満月の明かりかな
 雨粒に水輪ゆずりて水馬
 それぞれの生き方ありて七変化
 飛び石の途切れしあたり木下闇
 木下闇縄張めぐる猫二ひき
 風青し銀輪の列乙女ゆく
 奥庭の雨後の水蓮生き帰り
 雨上がり手入れはじまる薔薇の園

幸子
 麗子
 信
 恵美子
 恒
 智
 芽衣
 千里
 朋子
 享子
 恭子
 美津江
 悦
 スミ子
 霜月
 源一
 京
 藤子
 かつ
 知恵子
 ひろし



(俳句教室代表 佐藤 芽衣)

— 祝 ベスト6 入賞 —

山梨県都留市ふれあい全国俳句大会において、俳句教室の大越源一さんの句が准賞に選ばれました。おめでとうございます。

ふくしまの 帰らざる日々 ^{もがりぶえ} 虎落笛 源一



今期の英語教室は木村先生の元、66名の生徒と一緒に始まりました。金曜日の朝、当番の方達が用意してくれた9班の机に向かい、先生の“Good morning”の挨拶から授業が始まります。



英語の歌、絵本読み、英会話と短い2時間の中でそれぞれ勉強致します。歌は多数決で選曲をして決めますが、歌によっては棒読みしていると遅れていってしまうので、中々難しいです。絵本は先生が私達にふさわしい本を選んで下さいます。英会話はプリントでその回毎に勉強し、最後にグループ毎に実践をして終了します。

年二回外国講師の方に来て頂き、ヒアリング等の勉強も致します。耳から聞いて覚えるのも大事な事だと思います。

授業以外では、海外旅行、国内旅行、食事会と色々楽しいイベントも開催しております。仲間の交友関係を密にするいいチャンスだと思っています。

生徒一人ひとりが優しい気持ちでそれぞれの持ち味を出して協力してくれるところが大好きで、私にとって苦手な英語ですが、頑張れます。又、その個性を引き出して下さる先生がいるからこそと思い感謝です。いつまでも和やかな楽しい教室が続きますように！

(英語教室 市川 弘美)

《《 輪踊り民舞教室 》》

平成22年度に教室が始まり、今年で7年目に入りました。初年度は20名位でしたが、翌年からは定員いっぱいの大人気の教室です。

毎年、初日には新入生も知っている曲「東京音頭」と「炭鉾節」から始まります。7年間で習った踊りは数え切れません。曲名を聞いても『え！どんな踊りだったかしら？？』と首を傾げる私たち。最近は新しい踊りも覚えが早くなりまして、先生に『すごいねー』とほめていただけますが、忘れるのも早いんです。それでも先生は優しく、にこやかに『忘れてもいいんだよ』とおっしゃってくださいます。



新しい踊りを教えていただくときには、先生がおひとりで踊って見せてくださいます。それがとても可愛く、色っぽく、ステキなんです。

高齢者が多く、膝が悪く廻るのが大変な方には、『足踏みだけでいいんだよ』、手が上がらない方には、『無理に上げなくていいよ』とおっしゃってくださいます。

シルバー大学の学芸会の他、平成26年度に5年目を記念して、荒川区高齢者クラブのイベントに出演しました。そして27年度には、『評判が良いので是非出演を』とお誘いを受け、2年連続で出演しています。

舞台に上がる目標があると練習にも熱が入ります。夏の盆踊りでは老若男女入り乱れ、大きな輪が二重三重にできてとても壮大です。着物の着付けも覚えられます。とても楽しく、気が楽な教室です。学芸会で一緒に炭坑節を踊りましょう。

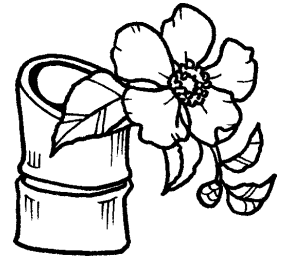
(輪踊り民舞教室代表 丸田 陽子)

《《 折り紙・絵本教室 》》

今年度から、「折り紙・絵本」と教室名を新たにし、生徒数も増え、総勢 22 名でスタートしました。この教室には、60 代～90 代の方が居りますが、年の差を感じさせない程、明るく、若々しく、面倒見の良い人ばかりで、家族的な雰囲気の中で楽しく学んでいます。

授業は、前半は折り紙、後半は石崎先生が選んで下さった絵本を読んで頂き、感想を話してくれます。今年からはプロジェクターを使って繰り返し見る事が出来るので、皆さん喜んでおります。

6 月 8 日には、荒川区老人福祉課の渡辺さんが、教室の授業風景を見に来られ、皆で菖蒲を折って葉書に仕上げ、写真と一緒に撮って頂きました。この後、米寿を迎えた香田照子さんのお誕生会を開き、お祝いに、皆で折ったチューリップを色紙に仕上げ、プレゼントしました。



これからは学園祭に向けて作品づくりに入ります。12 月になると近所の保育園の園児を招待し、一緒に折り紙をして、出来上がった物で園児たちと遊んだり、子供たちの将来の夢を聞いたりします。園児たちは、日頃練習してきたソーラン節の踊りを披露してくれます。毎年子供たちから元気を貰えると、とても好評です。保育園でもシルバー大学のこの教室との交流会を毎年楽しみにしているようです。

いつも、石崎先生の素晴らしい企画と、読み聞かせの話術に感動しています。生徒一人ひとりの事を考えた対応に感謝しております。私としては、教室の大役を仰せつかり、色々な体験をさせて頂き、皆様のあたたかいアドバイスやご協力に感謝しております。
(折り紙・絵本教室代表 塩崎 美津江)

投稿欄

《 ありがとう 》



時の流れは早いもので、シルバー大学に入りましてから 20 年、3 月の閉講式では学長賞をいただきました。感無量でございます。理事長はじめ皆様にお世話になり、またたくさんの学びの友にも恵まれアッと云う間の 20 年でございます。

思い起こせば、平成 20 年には荒川区功労賞を、平成 24 年には感謝状をいただき、身に余る光栄でした。私がこうして健全で今あるのもシルバー大学のおかげと感謝いたしております。健康に留意して、もう少しお世話になればと思っております。
(14 班 伊藤 慶子)

《 宮澤健一さんを偲ぶ自分史教室の皆さん 》

・シルバー大学の為に何時もニコニコし、何をお願いしても気持ちよくしてくださる。
急にお亡くなりになって淋しいです。 後藤八重子

・いつまでも信じられない。たくさんの思い出ありがとう。 新留弘子

・思いもよらず悲しい思いです。 中山春枝

・残照の明るみのこる窓辺に立ち 一人あの世の道を歩いているだろう友を想う。

佐藤恒子

・まさか宮澤さんとの別れがこんなに早く来るとは、思ってもいませんでした。いつもニコニコして何をお願いしてもイヤな顔はなさらず、シルバー大学にとってなくてはならない方でした。ご冥福をお祈り申し上げます。 井口和子

・宮澤さん、自分史教室が淋しくなりました。 落合静子

・荒川シルバー大学のためになくてはならぬ人でした。 畠山英子

・ご夫妻で記念行事に着物で出席される姿が目につかびます。シルバー大学に入学して日の浅い不馴れな私と井口さんが、宮澤さんのご指導と大勢の方々のご協力のお陰で、平成 25 年に、「創立 30 周年記念誌」「秋山照子先生追悼文集」「昭和の記録」の 3 冊を纏めることが出来ました。ありがとうございます。宮澤さんの熱い意志を受け継いで頑張ります。ご冥福をお祈り致します。 高山順子

・学舎に友を残して旅立ちし みもざの浅春^{はる}に君の声きく 榎本節子

・敬愛する友 生涯の中でなかなか出会えない。宮澤さんは私にとってそんな人だった。友と云うより兄でもあった。短い付き合いであったが忘れられない。 岩崎芳民

・頑張らない！いっぱい頑張ってきたから、辛い時は頑張れなかったもの。「頑張る」は 20 世紀に置いてきた。もう頑張らず死ぬまで生きよう。平成 25 年度の学園祭で「私のぞむ死に方」(死生観)で宮澤さんが出したものです。荒川シルバー大学のため、本当によく頑張って頂きました。貴兄の存在感を今ひしひし感じています。高橋建司

・だれにでもやさしい宮澤さん ありがとうございます。

・宮澤さん 大変お世話になりました。 合掌

・いつもお日様の如くにこやかな宮澤さん その顔が忘れられません。

・宮澤さんのあたたかい人柄 いつも人の為につくし、渋い顔を見たことがない。笑顔しか思い浮かばない！

・平成 17 年同期で入学して何やかやとめんどろ見て頂き、又よくお話し合う事も出来幸せでした。笑顔あふれた宮澤さん 明日のためすべてのことに有難う。

・個々に寄りそい、常にその人のより良い方向にと考えて下さったこと、有難たく感謝感謝

・宮澤さん ありがとうございます。原田先生との最後の会話、私のこれからの生きる目標となりました。これからしばらくはシルバーのお仕事お手伝いします。

・宮澤様 誠実・温厚・博識の見本 皆様から尊敬の的。立派です。

・いつも笑顔で素晴らしい人でした。笑顔が忘れられません。

・天国で元気にしてらっしゃいますか？そのうち皆行きます。待っててネ。

・シルバー大学を愛し、シルバー大学を支え続けて下さった宮澤様 その熱き思いが、生徒の皆様の笑顔と幸せをもたらして下さったと、感謝しご尊敬しております。これからもどうぞ、シルバー大学を守り続けて下さいませ。自分史教室講師 野口和歌子

熊本地震「義援金」について

8月31日現在の募金集計金額は¥392,113です。

引き続きご支援をお願いいたします。

9 月 の 行 事 予 定 ♪

期 日	合 同 講 義	出 演
30日 (金)	フルートと共に楽しもう！ 曲目：アメージンググレース他	木村國子様(学長)・今村智子様 溝口修三様・今野恵子様
会場：サンパール荒川 三階 小ホール 開演14時		

◆◆◆学園日誌 7月・8月◆◆◆

- | | |
|---|---|
| 7月6日 常任委員会・役員会 | 8月3日 常任委員会・役員会 |
| 7日 陶芸教室29年度日程表
作成（教室清掃依頼） | 1・4・8日 器楽教室開催〈3日間〉
8日 社協 福祉団体運営助成に伴う書類作成 |
| 22日 講師会（学園祭他） | |
| 25日 広報委員会 | 17日 学園祭お茶券・茶菓子券準備 |
| 27日 社会教育団体登録申請書作 | 22日 学園祭共催依頼書作成 |
| 31日 年度末交歓会会場手続き
(サンパール荒川 H29. 3. 17) | 学園祭区報掲載依頼原稿作成 |
| | 23日 広報委員会 |
| | 31日 シルバーだより314号作成 |

※事務局だより※

- ① 学園祭について：期日/10月21日～23日（金土日）の3日間
会場：ムーブ町屋3階及び4階ギャラリー
9月以降、各教室は展示作品や発表の準備等宜しくお願い致します。
- ② 研修旅行について：期日/10月26日～28日（水木金）の3日間
行先：紅葉の蔵王！ 飯坂りんご狩りと遠刈田温泉の旅

(事務所) TEL 03-3801-5740 FAX 03-3801-5691
(メールアドレス) arakawa-silver@tcn-catv.ne.jp
(ホームページアドレス) arakawa-silver.com/



室長・田原



シルバーだより

No. 315

平成 28 年 10 月 1 日

荒川シルバー大学

荒川区荒川 3-49-1

理事長 岡田芳子

TEL 3801-5740

FAX 3801-5691

— 心に染みる童謡の魅力 —

名誉学長 原田 治子

階段を下りる、「あれっ何をしにきたんだろう」。せっせと雑巾がけ、「さっきの雑巾どこへ」。「昨日道で会って挨拶した人誰だったんだろう」。忘却力は日ごとに増してきました。動きも鈍くなり探し物の時間も増えました。でも、記憶力・理解力・体力が衰え、あれこれ焦っても体が動かないので「ゆとりの時間」ができたようです。そこで、私の錆びついていていた感性が甦ってきました。

机の引き出しの整理をしていたら、私の好きな童謡と題して、黄色く変色した数枚のわら半紙が出てきました。読んでいるうちに、人間が本来持っている優しさ、温かさ、来し方への郷愁が込められている「日本の童謡の魅力」に、私の感性は目を覚ましたのです。

明治期の学校の音楽は、西洋音楽を応用したものが多かったのですが、大正 7 年 7 月 1 日（1918 年）「赤い鳥」童謡雑誌創刊を機に“日本の詩人、作曲家による童謡を”という運動が広がりました。7 月 1 日は童謡の日とされていますが、あまり知られていません。



「からたちの花」北原白秋。明治 18 年福岡県柳川市、江戸時代から栄えた商家に生まれる。白い花、青い棘、金色の実、季節ごとに変わるからたちの表情を見ながら通った小学生の頃。からたちのそばで泣いたよ／みんなみんなやさしかったよ。どうして泣いたの、でもみんなやさしかったんだね…。私の感性はどんどんふくらんでくるのです。

「赤とんぼ」三木露風。明治 22 年兵庫県龍野市に生まれる。幼くして祖父に引きとられ、お手伝いの姐やに養育される。32 歳の時トラピスト修道院講師として渡った、北海道函館での作詞。15 で嫁に行った姐やに負われて見た赤とんぼ。北国の秋の赤とんぼに重ねての郷愁。私自身を幼い頃の日々に誘ってくれます。

「お正月」東（ひがし）くめ。明治 10 年和歌山県新宮市に生まれる。わが国で初の口語体による童謡「鳩ぽっぽ」の作詞者。作曲家滝廉太郎と組んで「水あそび」「雪」なども。「お正月」は明治 34 年の作。もういくつ寝るとお正月／お正月には凧あげて。指おり数えて待ったお正月。父の死後わが家は貧しくなり、お正月の着物は姉のお下り。私の背丈に合わせて上げをする、針を持つ母の手がなつかしい。もう 80 年も経つというのに。

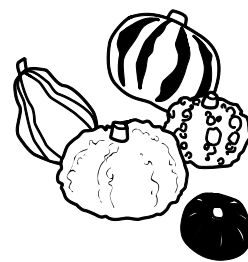
以上は、在校生の皆様にあてた手紙と思ってお読み下さい。そして、返信、感想、ご意見など、シルバーだより広報部にお寄せいただければとても嬉しいです。

料理教室は立川禮子先生が講師を、中村先生が助手を務めて下さっていて、「健康で長生きする料理を作って食す」をテーマにしている教室です。簡単に作れ、野菜を多く、和食の良さを取り入れるなどを考慮して主食、主菜、汁（スープなど）を作り、皆で食します。

塩分の少ない料理を作ることは難しいのですが、スパイスを使うとか酸味で減らすなどの工夫をした献立を考え、食材を準備していただいています。立川先生からレシピと注意点の説明をしていただき、5班に分かれて料理にかかります。

各班のチームワークが良く、ほとんど同じ時間で出来上がります。出来上がった料理を各班毎にいただきますが、塩分が少なく食材の味を感じられる優しいものです。気に入ったものは家庭でも作ります。今年度最初の教室で作った炊飯器で作るりんごのケーキは人気が高く、多くの生徒が自宅でも作りました。私も炊飯器でケーキが作れることが嬉しくて、2回も挑戦しました。

費用や季節の野菜を使うなど面倒な献立を考え、食材やレシピのパンフレットを準備して下さる立川先生と中村先生には感謝しております。生徒は面倒なことはしないで、楽しく調理しておいしく食べる事ができます。5班で作るので、早く料理が完成すると少し嬉しくなります。また先生に一番綺麗に出来ているなどほめられるとやはり嬉しくなります。



1ヶ月2回の授業は楽しく学べ、会話を楽しみ、そして美味しいという三拍子揃っている教室です。
(料理教室 中城 幸彦)

《《 自分史教室 》》

シルバー大学は30数年前水越様が創設されたことを耳にいたし、恩師故秋山照子先生が三日小校長退職後シルバー大学をお手伝いされておることを承っていました。小生は三日小卒業生で、原田治子先生には、故秋山照子先生を忍ぶ会や追悼文編集の折にご相談ご指導賜り感謝の至りです。

小生、数年前より井出家のルーツと自分史を製作編集中に壁にぶつかり苦悶逃避の状態でした。原田治子先生がシルバー大学の自分史の講師とお聞きし、小生自分史制作編集のため教えを請うべく入学させて頂きました。

自分史教室受講生40余名が原田先生の卓越、軽快、充実した講義の内容に魅了され人気の高さに驚かされました。又、教室の雰囲気や和やかで一致協力ほほえましい限りです。学生の皆様の立派な人柄にほだされ、小生も体力事情が許す限り受講を続けるつもりです。

原田治子先生は平成27年4月より自分史教室講師を後進の野口和歌子先生に譲り、野口先生は卓越した専門知識で講義をして下さり感謝の至りです。

又シルバー大学が900余名に及ぶ受講者数、退職小中学校校長、教員等充実した講師陣や組織運営に驚かされました。地域の社会教育活動で、全国に先駆けての充実した組織と運営をご賞賛申し上げ、シルバー大学の益々のご発展をご祈念申し上げます。

(自分史教室代表 井出 治雄)

平成 28 年度、シルバー大学には 90 歳以上の方が 22 名在籍し学んでいます。
(平成 29 年 3 月末時点)。「私は 90 歳を超えました」という題でインタビュー
をして、現在の様子を語って頂きました。

◎佐久間ツギさん（折り紙・絵本、硬筆、頭の体操教室に在籍）

94 歳になりました。毎朝、新聞を見て絵本の記事、特に広告欄等から読んでみたい
本を選んで本屋さんへ行き購入します。ない時は本屋さんに頼んで取り寄せてもらい
ます。友達にも薦めたりします。友達の輪が広がって楽しいです。

50 代から 78 歳まで働いたお陰で管理職にもなり、友達も大勢出来、楽しく過ごし
ました。退職後はシルバー大学の絵本と折り紙教室に入って、石崎先生と絵本のお話
が出来て楽しいです。働いたお陰で、好きな本を買えるお小遣いにも困らない。大好
きな絵本は「百万回生きたネコ」とおっしゃっていました。

◎兼杉つぎ子さん（頭の体操、健康体操、華道教室に在籍）

現在 92 歳、ラジオ体操は 30 数年続け、またシルバー大学で長い間学び、昨年の閉
講式で「理事長賞」をいただきました。

戦争を体験、盲腸や胆石・子宮筋腫など度々の手術を受け、若くして亡くなった孫
との別れなど辛い事悲しい事もありました。今は特に悪いところは無く、北小金に住
む長女を訪ねたり、ドイツに住む次女に会いに行ったり、シルバー大学では 3 教室に
入り、日々楽しく暮らしています。この夏はテレビの前でリオオリンピックを楽しみ
、沢山感動しました。4 年後の東京オリンピックも是非見たいとおっしゃっていまし
た。

ご自分の足で行きたい所へ出かけ、人との出会いを楽しみ、それを日記に書いてい
る。そんな毎日を送っているとのことでした。

◎渡辺ヨツさん（健康体操教室に在籍）

私は、女 6 人男 2 人の 8 人兄弟です。今年、94 歳の姉が、そして、甥が 74 歳で亡
くなりましたが、6 月と 8 月に曾孫が 2 人生まれました。91 歳と 93 歳の姉は施設で
元気に暮らしています。

90 歳の私は、天気の良い日は体調がすぐれない時もありますが、主人が亡くなって
から毎朝、娘婿がお勤めの前に、必ず私と一緒に主人の仏壇にお線香をあげてくれま
す。私は、娘が結婚する時 2 年間も反対したのに優しくしてくれます。今は申し訳な
いので、娘が出かけた時は、大好きな料理を作って待つことが楽しみです。健康体操
教室で、体を動かすことを楽しんでいます。

お元気にニコニコと語って下さいました。

10月の予定		秋の研修旅行	
26～28日	紅葉の蔵王！飯坂りんご狩りと遠刈田温泉の旅		
(水木金)	「さんさ亭」宿泊	Tel. 0224-34-2211	

10月の予定	学 園 祭
	①21日展示/13時30分～17時
21日～23日 (金土日)	②22日展示/9時～17時 ※お茶席：22日のみ/10時～16時 (お茶席の受付は14時まで)
	③23日展示/9時～15時
	会場：ムーブ町屋 3階・4階

学園祭設営等に関する注意点

- 20日(木) 学園祭前日 14時～16時 搬入可能。(4階へ)
- 21日(金) 各教室作品の展示準備は、午前9時30分～11時30分。
その後、華道教室の生花を展示。
午後1時より学園祭「開会式」。会場：3階 ムーブホール。
- 22日(土) お茶席は22日のみ。
- 23日(日) 午後3時より「閉会式」。会場：3階 ムーブホール。
終了後、華道教室より片付け開始。華道教室終了後他の教室片付け。

※ムーブ町屋の方が展示のお手伝いをして下さいます。高い場所や力仕事はお願いして下さい。くれぐれもケガのないように、よろしくお願い致します。

◆◆◆◆◆ 学 園 日 誌 (9 月) ◆◆◆◆◆

- | | |
|---------------------------------|-------------------------------|
| 7日 常任理事会・役員会
(学園祭他・お茶席券発売開始) | 20日 広報委員会 |
| 7日 合同講義打合せ (サンパール荒川) | 26日 合同講義プログラム作成 |
| 9日 学園祭ポスター作成 | 29日 シルバーだより 315号作成 |
| 14日 学園祭ポスター掲示依頼
(荒川都電営業所) | 30日 第三回 合同講義
♪フルートと共に楽しもう! |

※ 事務局だより ※

① 11月の公開教室のお知らせ

11月に限り各教室の授業をどなたでも見学できます。来年度の申込の参考になさってください。変更のある場合がありますので、事務所へお問い合わせください。

② 変更教室について

- ・フラ・ダンス教室：8/22(月)→10/24(月) 会場/センター(体育館)
- ・楽しい源氏物語教室：9/8(木)→10/6(木) 会場/変更なし
- ・英語教室：10/14(金)→10/7(金)に変更 会場/センター(第三+第四会議室)
- ・書道金曜教室：10/20(木)→10/14(金) 会場/大会議室

事務所 TEL3801-5740 FAX3801-5691

(ホームページ) <http://www.arakawa-silver.com/>

(mail アドレス) arakawa-silver@tcn-catv.ne.jp 室長 田原





シルバーだより

No. 316

平成 28 年 11 月 1 日

荒川シルバー大学

荒川区荒川 3-49-1

理事長 岡田芳子

TEL 3801-5740

FAX 3801-5691

— 豊かな秋に寄せて —

学 長 木村 國子

9 月 30 日のフルート演奏会には、大勢の方々のご参加をいただきありがとうございました。演奏会の打診があった時、だいぶ躊躇しましたが、フルート仲間に相談したところ、「良い機会を与えていただいたと思ってやってみましょう」という意欲的な反応で、お引き受けすることになりました。

フルートの音色が大好きで、退職後趣味として始めましたが、幸い良い仲間恵まれ、あっという間の 12 年です。引き受けてからの 1 年間、曲選びに始まり、毎週集まっての練習と大変でしたが、充実した時間を与えていただいたと思っています。

曲選びは、まず好きな曲から「アメージング・グレイス、モルダウ、花は咲く」を選び、プラス皆さんと一緒に歌って楽しんでもらえそうな歌を季節ごとに選曲し、合わせて外国の歌や演歌なども取り入れてみました。

サプライズとして、名誉学長の前田治子先生にもハーモニカで加わっていただき、アンコールで「月の砂漠」など素晴らしい演奏をしていただけたことは、何よりの嬉しいプレゼントでした。



終了後、たくさんの方々から、「本当に楽しいひと時でした」との感想をいただき、恥ずかしさもありましたが、今までの苦労も吹き飛んでしまいました。

10 月には、シルバー大学学園祭が行われ、皆さんの学習成果が発表されました。それぞれ一生懸命作り上げた作品や、工夫された作品に、その人らしさがよく表れていたと思います。結果も大事だけれど、その過程がもっと大事。私がフルートの練習を通して得たと同じような自分へのご褒美を、皆さんもきつとつかんだことでしょう。

これから秋たけなわ、紅葉の美しい季節を迎えますが、皆様どのような計画をお持ちですか？

私はフルートの他に写真撮影や読書の楽しみを持っていますが、残りの人生、美しい風景に出会い感動を写真に表したり、読書により経験や感動を共有出来たら、より豊かな人生を送れるのではないかと思います。

この美しい、爽やかな季節を思い切り味わい、楽しみましょう。

さて、皆さんは、どんな楽しみ方をするのでしょうか。

パステル絵の具画教室講師 永井 克巳

今年度は、23名、平均年齢74歳でスタートしました。ご高齢の方が多いのですが、制作意欲が旺盛で、活気に満ちあふれた教室です。

4月当初に「等角投影法の平面構成・3Dデザイン」を制作しました。斜角方眼紙を使って、立体形を表現する難しい課題だったのですが、学生の皆さんは、お互いに助け合いながら制作し、完成まで粘り強く制作する姿が見られました。

授業中は、おしゃべりが多いのですが、「陰影のつけ方をどうするの?」「立体感の表し方」など制作や題材に関する会話が主で、雑談はほとんどありません。

夏休み明けからは、学園祭の作品の最後の仕上げに、励んでいるところです。

私は、皆さんの「持ち味」や、「良さ」が作品に現われていれば良いと思っています。皆さんは、どうしても体裁を気にしてしまいます。これでは、作品が委縮してしまい、つまらない作品になってしまいます。自分では、気になる（気に入らない）作品と感じていても、第三者から見ると魅力的な作品に感じる場合があります。自分の「持ち味」や「良さ」を客観的に感じることも、大事なことです。

自分らしい生き生きとした作品を学園祭で発表して欲しいと願っています。



《《 フラダンス教室 》》

フラダンス教室講師 佐々木 時子

光陰矢のごとし、本当に時の経つのは早く、シルバー大学で講師をする機会を頂きましたのは、ついこの間だったと思っていましたが、あっという間に10年を迎えました。

一緒に歳月を重ねた学生さん達は、全く年を感じさせないパワーで毎回生き生きと教室に通っていらっしゃいます。

フラには年齢制限もなく、幼稚園児から高齢者まで幅広く楽しむことができます。フラの持つ力は私達がこれから迎えるであろう色々な体の変化を助けてくれる事は、実証されテレビでも取り上げられています。

こうやって10年の歳月をめでたく迎える事が出来たのは、学生さんはじめ諸先生方のお陰だと感謝しています。これからも学生さんと一緒に“アロハ”の気持ちを忘れず、明るくのんびりと楽しい教室を心がけていきたいと思っています。

学生さんに度々お願いされているハワイ旅行を10周年記念イベントとして、来年の3月に計画しています。ぜひ、爽やかなハワイの風を胸いっぱい吸い込み、益々元気なフラガールになって欲しいと思っています。



《《 楽しく歩いてミニ散歩 》》

東京近郊ミニ散歩教室講師 河合 美津江

◎5月12日：はじめてのミニ散歩はお台場

ゆりかもめ新橋駅で朝10時に集合の予定が、JR京浜東北線での人身事故で電車が遅れたこともあり、1名の方から「やむを得ず欠席します」との連絡が入る。結局、10時20分に31名で出発する。ゆりかもめでレインボーブリッジを通過し、海浜公園で降りる。お台場の大観覧車に乗って、益々発展していきだろ町並み、4年後の東京オリンピックの会場を想像する。ビーナスフォートからフジテレビまで、機動戦士ガンダムの像や炎のモニュメントを見ながら散策する。5月のお台場の風は心地よく爽やかなのだが、さえぎる建物も少ないこともあり、日差しがとても強く感じた。

*6月は紫陽花の六義園と旧古河庭園のバラを見学。

*7月は開業当時の東京駅に復元した丸の内側を散策。

*9月は江戸庶民の日常を再現した深川資料館と清澄庭園を散策。

*10月は午前中築地市場を見学し、昼食後、佃大橋を渡って住吉神社や西仲商店街を散策。1日見学コースにチャレンジしました。



◎◎ 本教室では、現地での見学・散策の前に、ミニ知識コーナーで学び、コースのキーポイントを班ごとで話し合います。班長さんは班の人たちをまとめながら、和気藹々と進めてくれています。その話し合いの結果を画用紙に書き、発表します。ちょっと物知りになって、健康づくりにもなるミニ散歩を一緒に楽しみませんか。

— 私は90歳を超えました — 現在の様子を語って頂いています NO.2

(広報部インタビュー)

◎布施博子さん（書道、歌声クラブ教室に在籍）

朝、目覚めたら先ずラジオ体操、仏壇の前に座りお題目を唱えること1時間。食事を済ませ新聞を読み、読書。これが私の午前中の日課です。午後は肩こりがひどいのでマッサージに行きます。そして、日記を書きます。書き続けて現在35冊目になりました。

町会の役員として、会費の集金や書類の回収などのお手伝いもしています。

シルバー大学に入学して28年、昨年度の閉講式で学長賞をいただきました。

92歳になった今、シルバー大学の講師の先生方、仲良くしてくれる学生の皆さん、2人の娘とその家族（1人は奈良に住んで居ます）、あらゆることに感謝の気持ちで日々暮らしています。願わくは元気でいて、4年後の東京オリンピック・パラリンピックを見たい。

このように笑顔でお話ししてくださいました。

◎中野俱子さん（音楽、自分史、源氏物語教室に在籍）

妹と弟がいますが、お互いに高齢になったため、最近はめったに会わなくなりました。私にとってシルバー大学で知り合った沢山の皆さんは、大切なお友達です。年齢が近く、同じ時代を生きてきたので話が合い、一緒に過ごすひとは、とても楽しいです。シルバー大学は、掛け替えのない大事な存在です。

主人と私の両親の4人を介護し看取ったので、親が護ってくれているのでしょうね。お蔭でこんなに元気でいられるのではないかと考えています、とおっしゃっていました。

常に前向きに、次から次へとやることが出てきて、目的を持って生きているので死ぬ気がしないとのことでした。何と素晴らしいことでしょう。

・・・11月の教室授業一般公開のお知らせ・・・

11月に限り、各教室の授業をどなたでも見学できます。29年度の申込の参考にしてください。但し、日程・会場に変更のある場合がありますので、事前に事務局にお問い合わせの上ご見学ください。

事務局 ☎3801-5740

◆◆◆◆ 学 園 日 誌 (10 月) ◆◆◆◆

- | | |
|------------------------------|-----------------------------------|
| 5 日 常任理事会・役員会
(学園祭・研修旅行他) | 21-23 日 学園祭 ムーブ町屋 3・4F |
| 5 日 学園祭打ち合わせ | 23 日 都電ポスター取り外し(有志) |
| 11 日 都電ポスター貼り(広報部) | 26 日 シルバーだより 316号作成 |
| 17 日 広報部編集会議 | 26-28 日 研修旅行：紅葉の蔵王！
飯坂温泉・遠刈田温泉 |
| | 27 日 荒川区功労賞授賞式 |

※ 事務局だより ※

1. 学園祭の件：開催以来初の1,500人超（3日間で）の入場者を迎え、平成28年度の学園祭は無事閉幕しました。区のご協力そして講師・役員・学生各々の熱意が結集された素晴らしい学園祭だったと思います。来年に向けて、またがんばりましょう。
2. 荒川区功労賞授賞式について
推薦団体として本年度ご推薦致しました後藤王子さん・濱妙子さん・滝口和彦さんが「社会教育功労賞」を受賞、10月27日表彰式が行われました。
3. 荒川区（28年度版）「まるごとシニアガイド」について
9月に発刊された誌上の12頁・13頁に当校を紹介、掲載いただきました。多くの方々からお問い合わせがありました。 ※募集期間は毎年2月です※
4. 11月の変更教室について：音楽教室は5日と26日になります。

(事務局) TEL 03-3801-5740 FAX 03-3801-5691

(メールアドレス) arakawa-silver@tcn-catv.ne.jp

室長・田原



シルバーだより

No. 317
平成 28 年 12 月 1 日
荒川シルバー大学
荒川区荒川 3-49-1
理事長 岡田芳子
TEL 3801-5740
FAX 3801-5691

— 学園祭を終えて —

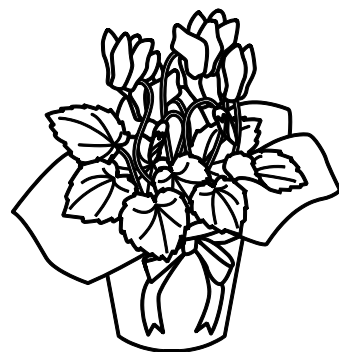
学長代行 望月 公子

学習の成果を発表する二大行事の一つである学園祭が、確かな手ごたえを持って終了しました。前日の準備は、会場の点検・作品の搬入・掲示等、期待と緊張から始まりました。

初日の開会式には、荒川区長西川太一郎様をはじめ多くの方々にご参列をいただきました。心より感謝申し上げます。展覧会会場を回られたご来賓の皆様からは「今年も楽しみにしてきました」「素人離れのすごい作品ばかりですね」等、身に余るお褒めの言葉をいただきました。

2 日目は、終日じっくり鑑賞できるとあって、出品者・家族・友人・一般の方等の来場が多く、体を斜めにしながら歩かなければならないほどの盛況ぶりでした。この日は、茶道教室のお茶席もあり、活気と静寂が相まった 1 日でした。

3 日目の後半は閉会式を控えているため、出品者は自分の作品の説明や、他教室の作品を観ておきたいという気持ちからか、会話や笑い声が溢れ、それぞれの人の思いが沸き上がっているような感じを受けました。午後 4 時半過ぎには、立つ鳥跡を濁さずのことわざ通り、どの教室もチリー一つなく片付けてありました。学生や当番の方に感謝いたします。



今年の学園祭のテーマは、これと言って特に決めませんでしたが、受付のすぐ横にあった絵手紙教室のパネルに「輝く個性」とあったように、どの教室も個性あふれた力強い作品が多く、昨年比べて一回り作品も大きくなっているように思いました。

講師の先生方の感想をお聞きしますと、「皆さんの熱意に感心しています」「自分でテーマを持ってやろうとしています」「学習力はいくつになってもついてくるものだと言われています」等でした。

11 月からは、後半の学習期間に入ります。2 月には、もう一つの学習発表の場である学芸会がありますので、出演される教室の方々宜しくお願いします。

今年度の学園祭では、出品者 800 名余、来場者 1500 名以上の成果でした。学芸会も同様に楽しく意義あるものになるように、全員で応援していきましょう！！

《 第 30 回学園祭を振り返る 》

実行委員長・社会科見学教室講師 高橋 建司

荒川シルバー大学には、開講式・3回の合同講義・学園祭・学芸会・閉講式と5つの公式行事がありますが、その中で3日間と最も長くそして最も多くの人に参加するのが学園祭です。そのため準備には、常任理事・教室代表・地区班長など多くの方が長期間準備に当たりました。

特に実行委員は、7月6日の第1回打合せから、講師会での実施計画の話し合い、その後ムーブ町屋の担当者との4回にわたる打合せと、「3日間の学園祭」のために多大の時間を費やしました。今回も大きなミスもなく順調に実施出来たと自負しています。今年度3日間の累計来場者は、1567名と前年の1363名を大幅に更新しました。

展示した教室も、限られた面積の中でそれぞれ工夫して毎年、描くもの・作るもの・茶道・生け花・写真・パソコンなど、年々向上しているのは見事でした。

本年度より2教室の参加増でしたが、実施中に色々な教室の方や講師から次回に向けての要望も多く寄せられました。ムーブ町屋の担当者より色々な指導も受けており、これからしっかり反省会を行い、来年度がよりスムーズに運営出来るように検討したいと思います。展示・後片付けなどで特に事故もなく無事終了出来ましたこと、担当講師・学生の皆様に感謝します。

教室だより

《《 楽しい源氏物語教室 》》

世界54か国の著名な作家100人の投票で世界の小説ベスト100を選んだところ、日本の作品が二つ入ったそうです。その一つが『源氏物語』です。

私は、日本が生んだ世界の文学『源氏物語』にずっと興味はあったのですが、原文に挑戦する勇気がなく、口語訳で一部を読むだけにとどまっていました。

ところが、シルバー大学で平成27年度に「楽しい源氏物語教室」が開設されることを知り、早速、受講生になりました。講師は、古典文学研究者で文学博士の中山幸子先生です。教室では、先生の著書『やさしい源氏物語』を教科書にして、先ず、全員で原文と現代語訳を朗読します。次に、先生が物語の背景、人間関係、当時の生活様式などを詳しく説明して下さり、私達を優雅な平安朝の世界に誘って下さいます。『源氏物語』全54巻のうち去年は「若紫（わかむらさき）」を読み、今年は「末摘花（すゑつむはな）」を読んでいます。



「グローバルゼーション」「IoT」など外来語が氾濫し新語が次々と生まれる昨今、ちょっと立ち止まって古典に立ち返り、「日本のこころ」に改めて触れ直すことが、私たちの生活を真に豊かにしてくれると私は信じています。

『源氏物語』を全員で朗読する声の響きは、ベートーベン「歓喜の歌」の合唱に勝るとも劣りません。今年度の受講生は23名です。来年度は、皆様方に「楽しい源氏物語教室」にご参加頂き、朗読の響きをより大きく、より輝かしくしましょう。

（ 楽しい源氏物語教室代表 村山 義博 ）

《《 水墨画教室 》》

水墨画教室講師 結城 秀翠

今年からご縁が御座居まして、シルバー大学の水墨画の講師を仰せつかりました。最初感じた事は、まだ調墨の仕方も筆の使い方も良く分からない人もいますが、皆さん学ぼうとする意欲にあふれているということです。

若輩者の私が申しては失礼かと存じますが、プラス思考に思っ「よし、ご指導する甲斐がある」皆、目を輝かせて真剣です。お手本を描いていると大事な事を聞き逃すまいとしてメモしている人もいて、愛おしささえ感じます。鳴かせてみよう時鳥ではありませんが、鳴くまで待とうでは、何時の事やら。少しずつ楽しみながら、2,3年先に、最初はこうだったわね、などと振り返って笑談する事でしょう。



生涯学習、色々な趣味を持って無理をせず一步一步学び取り有意義な人生を歩めたらと、自分自身にも云い聞かせたりして、この半年で技術も少し向上し皆さんも少し楽しさが出てきたようです。

初めての学園祭ですので、8月は特別夏期講習を、10月には、18日と21日に特別指導を致しました。無事学園祭も終わって、とても評判が良かったようです。天鼓先生も『心配だから見に来たよ』と云っておいで下さいました。『安心したよ、貴女のカラーが出ているね』とおっしゃって下さいました。

皆さんも色々な分野に興味を持って多方面にお顔を向けては如何でしょうか。

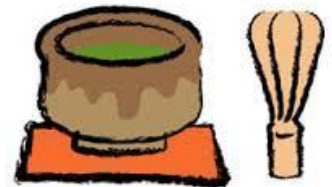
私もボランティア精神で、地域の為に微力ではありますが、お役に立てたらと思っております。11月から来年の学園祭に向けて一年間ありますので、ゆっくりのご指導させて戴きます。

《《 如何でしたか 茶道教室 》》

今年度の学園祭は、さわやかな秋空の下、卯の花点前にて皆様をお迎えさせて頂きましたが如何でしたでしょうか。

茶道教室生徒一同、力を合わせて練習・準備してまいりました。皆様にとって、心なごむ一服でありましたら幸いです。

ご指導頂きました染山先生からは、今年のテーマでありました野点の所作のみならず、お茶にまつわる歴史や逸話、日常に潤いをもたらすような様々な心配りも学ばせて頂き、感謝の気持ちでいっぱいです。



年を重ねてからの習い事ながら、こんなにも充実した日々を送っておりますのは偏にシルバー大学のお引き合わせがあったからこそだと思っております。

学園祭での茶道教室の発表を、新しい試みで皆様に楽しんで頂けるようこれからも努力してまいります。

(茶道教室 小澤 よし子)

《《 年を経てしか見つけれない宝物 》》

パソコン教室講師 望月 利一

パソコン教室は、既に 10 年以上経過し、この間世の中のパソコンを取り巻く環境は目まぐるしく変化してきました。始めた当時は、パソコンを知らない方がほとんどでしたが、今では、パソコンを知らない人は、全くと言っていいほどいない世の中になっています。

教室での授業内容も、初めのうちは、巷のパソコン教室と同じような内容をそのまま持ち込んでいました。しかし、シルバー大学で学ぼうとする皆さんの特性を考えながら、授業内容を年々変えてきました。

今では、とにかくパソコンを使って遊んでもらおうというのが第一の狙いになっています。パソコンを使って色々な作品を作ること、「考える力」「工夫する力」「記憶する力」等、様々な力が養われ、また、補われていきます。また、できなかったことができた時の喜び、新しいことができるようになった時の驚き、これらは、豊かな感情を呼び覚まし、生きていく上での活力になると信じています。

始めた時は、学生の皆さんは、私より年上の方ばかりでした。しかし、気がついたら、年下の学生さんもおられるようになりました。今まで、気付かなかった事も、年を経ることでしか見つけることができない事もあるということ、最近実感しています。そんな気付きを大切に、これからも皆さんと一緒にパソコンを楽しんでいきたいと思っています。

《《 華道教室 》》

華道教室講師 内藤 眞澄

5 月から 10 月までは学園祭に向けて盛花中心に基本の活け方を練習し、その中の数回はベーシックアレンジを練習してまいります。11 月から 3 月まではイベントの多い時期の花材となり、クリスマスを彩るリース作り、正月用の生け花等となります。松は縁起が良いとされていることから、お正月飾りに重宝されてきました。古来、松は長寿を意味するものとして尊ばれてきました。また、依代（よりしろ）として神様が宿るともされています。このように縁起の良いお正月用の生け花を家族が集まる場所に飾り、新年を祝ってはいかがでしょうか。

1 月から 3 月は主に枝ものの花が出回る時期なので矯めるか、花材によっては投げ入れ活けの留め方の技術を練習してまいります。

以前、新聞に「季節の移り変わりを何で感じ取りますか」という調査について掲載がありました。自然環境が豊かな地域では木々や草花など動植物を見るケースが多く挙げられ、一方都市部の人からは、店頭の商品・周囲の服装、さらには気温くらいといった少々味気ないコメントもあったそうです。近年白い壁に囲まれたマンションなど、シンプルな空間に住む人が多くなってきました。そのため、どうしても薄れがちなのが季節感や自然です。

月 2 回の教室ですが、そんな薄れがちな自然を花材から一足早く四季折々の香り・移ろい・安らぎを感じつつ、皆さん熱心に花をあしらう姿に敬服しております。楽しい教室です。



(広報部インタビュー)

◎佐藤ひでさん（硬筆、健康体操、写真教室に在籍）

毎朝、近所のラジオ体操会場で 38 年間皆さんとラジオ体操を行っていることが健康の元だと思っています。庭先で野菜や季節の草花を育てています。水やりを 1 日も欠かすことが出来ません。花や野菜の育ちと一緒に、私も元気を貰い、毎日のお仕事と趣味になっています、とおっしゃっていました。

今年の夏は特に暑く、T シャツを着ることが多かったのですが、佐藤さんは、真っ白な T シャツにピンクの薔薇やニッコウキスゲを描いたシャツを着ておられましたので、素敵なのでどこでお買いになったかお聞きしましたら、ご自身で描かれたとのこと。さっそく、教えて頂きました。パソコン、写真、書道、絵、編み物等々、お仕事を 55 才で辞められてから 10 年毎に変えて何でも挑戦しています、とのことでした。

◎荻部きよのさん（華道教室に在籍）

水越清次理事長の時代に入学して 32 年、陶芸・コーラス・レクダンス・気功教室で学んできました。今は、お花が好きなので華道教室に入っています。

手が震え、言葉もうまく言えませんが、内藤先生はじめ、教室の皆様がとても親切にして下さり、お世話になるばかりですけれども、出来る限り続けたいと思っています。

町会の集まりが月に数回あります。食事をしてお喋りをして、楽しいひと時を過ごしています。また、週に 4 日デイサービスに行っていますが、自宅にいる時は趣味の手芸を楽しみながら、長男の嫁と孫の三人で幸せに暮らしています。

96 歳の荻部さん、明るく話してくださいました。私達学生の目標です。

— シルバーだより 315 号（平成 28 年 10 月号）に届いたお便りです —

①「心に染みる童謡の魅力」を読んで、原田先生でも忘却力はあるのですね。自分の日常を書かれた様な文でした。「そうそう同じです」と何か、自分だけではないのだと、ほっとしました。

「童謡の魅力」色々な事をご存じで驚きました。私も先生の文を読み、久しぶりに童謡の CD を聴いてみました。懐かしく心と和みました。以前、赤とんぼが大好きで、よくお風呂に入ると歌いました。また歌いたいです。

先生のおたよりはいつも心が和みます。312 号の「今を大切に生きる」にも励まされました。いつまでもお元気で、私達をご指導下さいます様お願い致します。

私は 80 歳になりました。70 代とは、全く違った様々な事を知らされています。でも、頑張って勉強して、明るく生きて行きたいと考えて居ります。
ありがとうございました。 (一生徒より)

②先生のおっしゃる通り、童謡が最近忘れられていると感じる近頃です。日本を思わせる良い歌が沢山ある中、今の子供達は教わっているのでしょうか？
昔は、親からも教わっていた気が致します。子供達から聞こえてこないのは、何故でしょうか？ 寂しい限りです。 (市川)

— 高潔な選手コメントに感動 —

私はリオデジャネイロ五輪で、特に選手のコメントに注目している。単に勝った負けただけではなく、支えてくれた家族、指導してくれたコーチ、先輩や後輩などへの思いも凝縮され、コメントはその人の人格そのものだと思うからだ。

「金メダル級」のコメントだと感じ入ったのは、体操男子のオレグ・ベルニャエフ選手（ウクライナ）の言葉だ。個人総合の最終種目で内村航平選手に際どく逆転されて2位になったベルニャエフ選手は、記者会見で海外メディアが内村選手に「審判から好意的に見られてるのでは」との質問を投げかけると「スコアはフェアで神聖だとみんな知っている、無駄な質問だと思う」と云い切った。



「悔しさが募る中、潔く負けを認め、勝者に敬意を払った態度に限りない品位を感じた。そしてベルニャエフ選手が内村選手と笑顔で握手を交わすのを見て、一日も早いウクライナの紛争終結を願わずにはいられなかった。

（平成28年8月17日 産経新聞「談話室」に掲載 28班 佐藤 恒子）

◆◆◆◆ 11月の学園日誌 ◆◆◆◆

2日	常任理事会・役員会 (学園祭・研修旅行 反省他)	21日	広報部編集会議
	年度末交歓会の件	24日	28年度支払調書作成
10日	29年度年間講義日程 センターへ申請	27日	29年度ふれあい館・ひろば館 使用許可申請書作成
		30日	シルバーだより 317号作成

※ 事務局だより ※

1. 講師会について

期日：12月16日（金）午後1時～ 会場：第一会議室

2. 29年度教室について

- ・新設：器楽教室（月曜・午後）（会場：夕やけこやけふれあい館予定）
- ・変更：気功教室（金曜・午後）（会場：日本総合医療専門学校予定）

※上記、詳しくは1月号に掲載致します。

3. 29年度学園祭について

期日：平成29年10月20日（金）～ 22日（日）

会場：ムーブ町屋 3F 4F



（事務所）TEL 03-3801-5740 FAX 03-3801-5691

（メールアドレス） arakawa-silver@tcn-catv.ne.jp

室長・田原



シルバーだより

No. 318
平成 29 年 1 月 1 日
荒川シルバー大学
荒川区荒川 3-49-1
理事長 岡田芳子
TEL 3801-5740
FAX 3801-5691

— 今年目標を立てましょう —

理事長 岡田 芳子

新年おめでとうございます。

平成 29 年の始まりです。月日の流れの早さを感じます。暑い日々を過ごしている時は秋の訪れを願い、寒い日々を過ごしていると春の訪れを待つ私たち、ちょっとわがままなのかな？でもそんなわがままはいいのではないかと思います。

去年の自然現象を思い出すと、自然には勝てないことがわかりました。

私たちは現職を退き、少しばかり時間の余裕ができたのですから、シルバー大学で好きな学びをしながら友と語らい豊かに生活することは、わがままではないと思います。

さて、新しい年を迎え、皆様はどんな目標を立てましたか。今さら目標なんてその日その日に感謝して生活するだけとおっしゃるあなた、それは立派な目標だと思います。

私は、昨年「漢字検定十級と九級をする」を目標にしてやり終えました。小学二年生までの漢字学習です。今年は八級にチャレンジです。脳は難しいことに挑戦することにより活性化するように思いますが、やさしいことに挑戦してできたことの喜びもまた脳を活性化するのはです。

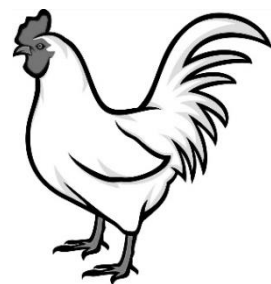
目標の一つ目は、できることをたてましょう

- ・一日、三千歩歩く
- ・一日、三人以上の人と話す
- ・昨日と違うマーケットに行く

二つ目は、ちょっと無理かなという目標

- ・学習教室の参加 19 回中 17 回は出席する
- ・合同講義 3 回とも出席する
- ・一日三千字以上の文字を読む（新聞のテレビ欄の半分程度）
- ・一日の良い事、頑張った事を一つ以上書く などなど

木々の芽がふくらみ始めやがて訪れる春、さあ今年も足元の幸せを願って心豊かに生活致しましょう



◎今年も良い年になりますよう、役員一同頑張りますのでよろしくお願いします。

平成28年度 荒川シルバー大学 役員一覧

常任	理事長	岡田 芳子	名誉学長	原田 治子		
理事	学 長	木村 國子	学長代行・副理事長	望月 公子	事務局室長	田原 弘子
						次ページへ続く

常任理事 ①	副理事長	後藤八重子	副理事長	高橋建司 (講師会長)	書 記	立川禮子 (講師)
			副理事長	石崎恵子 (講師)		
	事務局長	瀧澤百合子			東日暮里地区長	尾島ゆう子 ③
	副事務局長	山口 俊章 ②③	会 計	江川 芳江	西日暮里地区長	畠山 英子
			会 計	雨宮マサ子	南千住 地区長	伊東千代子 ③
	会計部長	岩崎 芳民	企画部	嶋戸由美子	荒 川 地区長	山田 紀子
	広報部長	井口 和子	広報部	水越 絹代 (講師)	町 屋 地区長	滝口 和彦 ②
	施設部長	高橋 武三 ③	広報部	高山 順子	東尾久 地区長	後藤 王子
					西尾久 地区長	石塚美江子

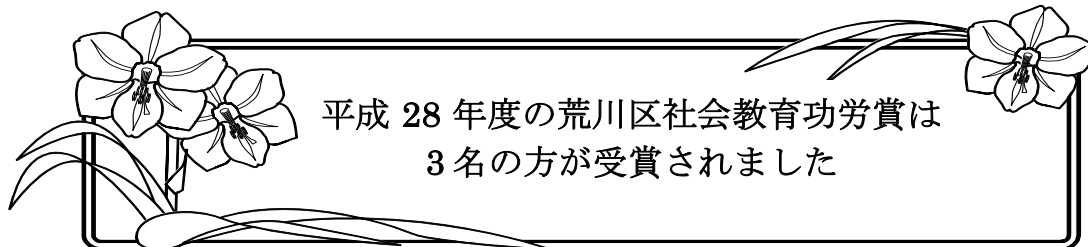
相 談 役 (元学長) 稲川 君江

会計監査 43. 新井 義三 ② 20. 中田 恭子④

地区代表長：後藤王子		地区副代表長：篠崎節江		地区代表書記：山田紀子		
(地区) 理事 ②	班 長	1. 山口俊章①③ 2. 藤田 静江 3. 石川 波江 4. 佐藤 啓子 5. 太田諏訪子③ 6. 矢野與志子 7. 竹内 静子 8. 松澤 芳子 9. 田畑 一枝 10. 阿部 成子④	11. 西澤 節子 12. 鶴岡 恵子 13. 中島 英子 14. 宮下 貞子 15. 隅田 照子 16. 庭野 美枝 17. 大工原仁子 18. 小林 敏子 19. 小磯教子③ 20. 土肥 絹江	21. 武田 咲 22. 酒井 倫夫 23. 入山 勝子 24. 竹内 陽子 25. 吉田百合子 26. 佐藤 康子 27. 西須 芳子 28. 藤原 公子 29. 西野喜美代 ③ 30. 松本 光章	31. 松田 和子 32. 滝口和彦① 33. 足立 房子 34. 山泉昭子③ 35. 布川春江③ 36. 橋 ハツミ 37. 安西 昌子 38. 今井智枝子 39. 山崎すい子 40. 中村美妙子	41. 篠崎 節江 42. 石原 優子 43. 新井 義三 44. 高田 敏江 45. 横山 陽子 46. 石山つめよ 47. 岡田 正規
	副 班 長	20. 榎本 節子④	29. 清水 仁美	32. 森 秀太郎	34. 徳岡喜代子	

		(月火水) 教室代表長：北潟園枝		書記：小林潤也		(木金土) 教室代表長：田崎富男		書記：佐藤芽衣	
(教室) 理事 ③	(月) 教室代表	気 功	46. 中沢 玉枝	(木) 教室代表	絵手紙 A	29. 宮向井芳江			
		硬 筆	27. 佐藤 ひで		絵手紙 B	31. 松田 和子②			
	水彩画・午前	17. 高松 幸子	ニット・木曜	4. 柳原 雅子					
	水彩画・午後	6. 尾島ゆう子①	華 道	43. 押江マサヨ					
	水 墨 画	23. 矢ヶ部昭彦	健康体操	9. 増山美代子④					
	フラ・ダンス	19. 小磯 教子②	俳 句	2. 佐藤 芽衣					
(火) 教室代表	歌声クラブ	22. 渋谷 一子	朗 読・午前	16. 辻原 貞子					
	自 分 史	4. 井出 治雄	朗 読・午後	18. 澤野 敏子					
(水) 教室代表	書道・火曜	1. 山口俊章①②	輪踊り民舞	9. 丸田 陽子					
	陶 芸	28. 竹内ゆみ子	楽しい源氏物語	44. 村山 義博					
	パソコン応用Ⅰ	32. 北潟 園枝	東京近郊ミニ散歩	41. 小嶋 新平					
	パソコン応用Ⅱ	34. 山泉 昭子②	(金) 教室代表	今と昔の町歩き	35. 布川 春江②				
	日本の話芸	47. 鷺坂 善孝		英 語	33. 濱 妙子				
	頭の体操	34. 関 夏子	ニット・金曜	13. 五十嵐睦子					
折り紙・絵本	22. 塩崎美津江	茶 道	12. 津山 良子						
自然と小さな旅	17. 伊東千代子①	書 道・金曜	29. 田崎 富男						
社会科見学	29. 高橋 武三①	パステル・絵の具画	5. 太田諏訪子②						
写 真	27. 小林 潤也	(土) 教室代表	音 楽	29. 西野喜美代②					
料 理	26. 佐藤 康子								

(事務局)	施 設	28. 金久保芳夫	24. 吉野 茂	20. 中田恭子 (監査)	
理事 ④	接 待	10. 阿部成子 ②	20. 榎本節子 ②	9. 増山美代子 ③	



10 月 27 日、その日は受賞を祝うような好天に恵まれました。

受賞者は、保護司をなさった方など、様々な分野で活躍されている方々、全員で 119 名でした。シルバー大学では、私と滝口さんの 2 名と（後藤さんはシルバー大学の旅行の幹事でそちらへ参加）、岡田理事長、望月先生、稲川先生が参列して下さいました。

シルバー大学に入学していつしか 14 年余り過ぎ、お声がかかるまま教室代表・副代表・班長をお受けし、微力ながら続けてきました。

私が功労賞を戴いていいのだろうかと思いましたが、光栄なことと有り難く頂戴致しました。

人生、色々な事があります。出来る事、好きな事を自分なりにやってきました。振り返ってみて私の歩んできた道は間違っていなかったと思っています。これからもシルバー大学で皆さんと一緒に学び、私が手伝える事は協力させていただき、楽しんでいこうと思っています。宜しくお願い申し上げます。

この度はどうもありがとうございました。（ 英語教室代表 瀨 妙子 ）

此の度、理事長・学長はじめ皆様方のお陰様にて受賞致しました。誠にありがとうございました。

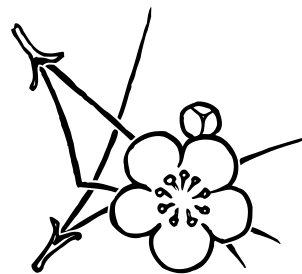
どなたかの言葉に『無気力になった時、他のすべてが崩壊する、心が老人のコントロールタワー…』と。

歳月の流れ早く、人生を惜しむ気持ちが深まる中、老後は一人にならない、友を作りサークルに入り趣味を持ち、ある日気が付いたら、いなかった。これ最高！との思いでシルバー大学へ入学、20 年近く経っておりました。

さまざまな紆余曲折はあれども、日々楽しく過ごしていきたいと。又とても尊敬する先輩の方がおります。それを胸に日々頑張っ

て参りたいと思っています。
“明日に生きる勇気が湧き、人生を豊かにしてくれる、趣味を持ちたい為の荒川シルバー大学なり”

（ 東尾久地区長・厚生部 後藤 王子 ）



もうお一人は、町屋地区長の滝口和彦さんが受賞されました。
おめでとうございます。

広報部より

◎平成 28 年 10 月の学園祭では、大勢の方にアンケートのご協力を頂き、ありがとうございました。皆様のご意見は今後の大学運営の参考にさせていただきます。

写真教室講師 戸叶 恒夫

平成 28 年の学園祭が終わりました。学生 28 名の作品が見事に展示されました。教室の撮影会、地域の行事や各自の旅行など、作品は様々です。その作品も素晴らしい力作でした。「何を撮ればよいか分かりません」5 年前、生徒からよく聞かれた言葉です。日頃教室では「ここを撮りなさい」でなく、「自分はここを撮りたい」との思いを大切に、と伝えています。

今はデジタルカメラの時代です。だれでもキレイな写真を撮ることが出来ます。

「何を撮るか」「どう撮るか」よりも、「なぜ撮るか」が大切なのです。見る人に「この写真のここを見てほしい」が伝わるような写真を撮りたいものです。見る人に感動を与えるには、まず自分が感動することが大切です。



写真教室の活動は月 2 回、1 回は撮影に出かけます。その次の回には、撮影した一人ひとりの作品をプロジェクターを使って学習しています。今年度は下記の所へ撮影に行きました。

- ・ 5 月 上野動物園 ・ 6 月 本土寺 ・ 7 月 六本木ヒルズ
- ・ 9 月 柴又帝釈天 ・ 10 月 横浜桜木町 ・ 11 月 葛西臨海水族園
- ・ 12 月 和田倉公園イルミネーション

11 月に行われた荒川区写真連盟主催の文化祭では、「写真教室」から 8 名（特選 2 名を含む）が入選しました。来年度は応募者がさらに増えることを期待しています。

《《 日本のお話芸教室 》》

日本のお話芸教室講師 三浦 勇伯

日本のお話芸教室は、落語・講談・浪曲・漫才など日本に古来から伝えられているお話芸を勉強している教室です。勉強すると言ってもこれらのお話芸を分析したり、研究するというのではなく、これらを見たり聞いたりして楽しむことが主眼です。

落語で腹の底から笑い、浪曲に涙を誘われ、歯切れのよい講談に酔いながら、親子の情愛、義理人情、勧善懲悪など、いわば“日本人の心”を勉強しております。教室が賑やか過ぎて廊下を通

る人がびっくりすることもしばしばです。

また、教室での勉強ばかりでなく年に数回、浅草演芸ホール、国立演芸場、上野鈴本などの寄席に出かけて現在の生の芸を鑑賞する機会も設けております。

これらのお話芸には、それぞれに起こり、生い立ち、現在の形があります。それらを探ってみるのは、実に興味が尽きない楽しいものです。

日本のお話芸教室は、学生が腕を磨くという教室ではありません。あくまでも名演を鑑賞して、人間を磨く教室です。多数ご加入いただいて人間を磨き合いませんか。沢山のご加入をお待ちしています。



《《 書道・火曜教室 》》

書道・火曜教室講師 大友 悦子

11月8日、洋画家であり書家でもあった中村不折の書道博物館へ見学に行きました。

初めての校外授業でしたが、古代文字や拓本など、漢字の成り立ちや歴史を学んできました。時々、美術館に出向き本物を見て目を肥やし、感性を磨くことはとても大事に思います。心身共に健康で元気な学生さんでいて欲しいと願っています。昼の食事もおしゃべりをしながら楽しいひとときを過ごすことが出来ました。何よりも皆さんの笑顔が印象的でした。

学園祭の作品も、色々な方からお褒めの言葉を頂きました。「上手下手、テクニック」ではなく、元気で味わいのあるその人らしい文字を書くよう、これからもご指導していきたいと思っています。

これからも、共に楽しみ、元気でパワフルな文字を書いていきましょう。

— 私は90歳を超えました — 現在の様子を語って頂いています NO.4

(広報部インタビュー)

◎森田敏子さん (華道教室に在籍)

お宅を訪問するとお花が活けられ百合の香りが迎えてくれました。前回の教室のお花だそうです。

ある日、友達に誘われてサンパール荒川で学芸会を見て、シルバー大学を知りました。すすめられて華道教室に入り16年目、華道教室一筋で学んできました。その当時は栗田先生が教えて下さり、それから内藤先生にバトンタッチ。先生、そして、教室の皆さんがとても優しくして下さい、有り難く感謝の気持ちでいっぱいです。

自動車部品を作る会社の長男に嫁ぎ、家族が多く、住み込みの従業員もあり、大変な時期もありましたが、92歳の今は一人で気ままに暮らしています。息子夫婦が頻繁に来てくれ、またお友達が訪ねてくれ、寂しい事はない。腰が痛いのがこまりもののだが…。

高齢になって大学生になりました。誇らしく思っています。シルバー大学の先生方、皆様方、どうも有難う御座います。

暖かく迎えて下さり、楽しいお話を伺いました。ご協力有難う御座いました。

❀ 平成28年度シルバー大学交歓会について ❀

昨年度より実施となりました閉講・卒業式後の交歓会を、今年度も下記要領にて実施致しますので各教室ごとにお申し込み下さい。

1. 日時 3月17日(金) 午後1時～4時
2. 会場 サンパール荒川 小ホール
3. 会費 4,000円(食事・飲み物代含む)
4. 参加申し込み締め切り 1月31日(火)



◆◆◆◆◆ 12月の学園日誌 ◆◆◆◆◆

7日	常任理事会・役員会	16日	講師会
7日	学芸会打合わせ（サンパール荒川）	19日	広報委員会
14日	29年度年間日程 （センターと打合せ）	22日	区へ29年度施設使用申請書提出
15日	29年度募集要項作成	25日	日本医療専門学校へ使用申請書提出
		26日	シルバーだより318号作成

※事務局だより※

1. 平成29年度受講生募集について

新設教科：①器楽教室（月曜・午後）②「何でも教室」会場申請中

◆町歩き関係「下記4教科」を含む申し込みについて

- ①今と昔の町歩き ②自然と小さな旅 ③社会科見学
④東京近郊ミニ散歩

受付日：2月3日（金） 時間：午後1時～3時

※ただし、パソコンは6日（月）からの申し込みとなります。

◆29教科「上記4教科以外」の募集

受付日：2月6日（月） 時間：午前10時～午後3時

受付日：2月7日（火）～17日（金） 時間：午後1時～3時

（申し込み会場について）

生涯学習センター内です。（正面玄関に会場を掲示）

（費用について）、

運営費については、複数の教科を受講されても1年間一律¥7,000です。

受講料は、1教科1年間5,000～7,000円です。

（申込用紙について）

「継続申込書」＝1月の役員会終了後、地区班長が配付・・・在校生用

「新入学申込書」＝1月より玄関ポスト前に設置・・・・・・新入学生用

2. 平成29年度の開講教室の曜日・時間帯は下記のようになっております。

/＝午前・午後の時間帯区分 ◎＝午前と午後の授業あり

（月）◎水彩画・水墨画/ 硬筆・フラダンス

（火）歌声クラブ・書道火曜・◎陶芸・パソコンⅠ・Ⅱ/ 自分史・日本の話芸

（水）自然と小さな旅・社会科見学・料理 / 頭の体操・折り紙絵本・写真

（木）絵手紙A・華道・◎朗読・輪踊り民舞 / 絵手紙B・おしゃれニット木曜・健康体操・俳句・楽しい源氏物語・東京近郊ミニ散歩

（金）英語・書道金曜・おしゃれニット金曜 / 今と昔の町歩き・気功・茶道・パステル絵の具画

（土）音楽 / 注記：上記に変更のある場合は、改めてお知らせ申し上げます。

（事務所）TEL 03-3801-5740 FAX 03-3801-5691

◆年末年始のお休み：12月28日～1月5日◆

ホームページ：<http://www.arakawa-silve.com>



室長・田原



シルバーだより

No. 319

平成 29 年 2 月 1 日

荒川シルバー大学

荒川区荒川 3-49-1

理事長 岡田芳子

TEL 3801-5740

FAX 3801-5691

— 意思と希望と諦めない心 —

学 長 木村 國子

今年の正月はとても良いお天気で、暖かく過ごし易い、穏やかな年明けでしたね。皆様は、何処で、どの様な新年を迎えられましたか？

私は、友人の独身者 3 人と共に、箱根仙石原で年末年始を過ごしました。窓から富士山を眺めながら、毎日温泉に入り、一年間よく頑張った自分にご褒美を上げる気持ちで、ゆっくりと過ごしました。

日頃読みたいと思いながら、なかなか時間が取れずに「積ん読」本になっていた本を数冊選び、持って行って、たっぷり時間をかけて読みました。お掃除も、お料理も、自分でしなくてよい世界にドップリと浸かって、、、いつかできたらいいな！と思っていた夢の、お金に代えられない世界です。

かつて、除夜の鐘を聞きながら、まだ終わらぬ正月料理の準備に追われていた頃の自分を思い出します。現役の頃、幼子の面倒をみながら大掃除がはかどらず、涙が出そうな時もありました。忙しさを口実に、手伝わぬ夫に愚痴の一つも言いたくなり、年末は、時々穏やかとは行きませんでした。

そのように過ごすこと数十年。年月を重ね、やっと自分の希望が叶う新年の迎え方が実現出来るようになりました。

人それぞれに歴史有り。新年の迎え方もそれぞれでしょう。これからの一年間の計画も生活設計も人によって違って当然です。でも、どんな状況であっても、「自分はこうありたい」という意思と希望と諦めない心の強さを持って 2 月からの生活をスタートさせましょう。

さて、シルバー大学では、2 月 3 日から来年度の募集を始めます。今年度は原則として事前募集をせず、先着順とし（ただし「今と昔の町歩き」は事務処理上、事前募集有り）、どの教室も希望者は順番に受け付けることにしました。3 日の初日は、混雑が予想される外歩き関係 4 教室の受付を先行し、6 日からは、その他の全教室の募集をおこないます。詳細は「募集要項」をご覧くださいの上、沢山の方々の申し込みをお待ちしています。

シルバー大学は、互いに学び合い、助け合うことを大切にする学校です。一生懸命生きようとしている人には、必ず良き仲間が出来、寄り添う人が現れるものです。

互いの良さを見つけて、認め合って、磨き合う、そのような学びの場にしたいものです。私も皆さんと共に頑張ります。



— 秋のふくしま路と復興応援ツアーに参加して —

平成 28 年 11 月 24 日。雪の降りしきる東京を後に出発！しかし、白河を過ぎた辺りから雪はやみ、一路飯坂温泉へ。

飯坂温泉では福島市の観光課の方、観光コンベンション協会の方々が待ち受けていらして、福島市の並々ならぬ力の入れようをヒシヒシと感じた。

美味しい昼食の後、堀切邸（江戸時代からの豪農・豪商）を見学。ここでも震災の爪痕がみられた。その後、リンゴの収穫とジャム作り体験「福島市♥荒川区」の文字入りリンゴに感激！一人一箱のお土産にも感激。もぎたてのリンゴはみずみずしく蜜も入っていて美味しかった。事故当時はやはり放射能が検出されていたが、真冬に高圧洗浄機で一本一本木を洗って除染を行った結果、除染に成功したとのこと。頭の下がる思いだった。

場所を移して学習センターでジャム作り。果樹園の安斉さんから習う。大ざるいっぱいリンゴと格闘。皮むき、薄く切る作業を和気藹々で行う。煮る段階では味見、食べ比べと称して度々鍋の蓋を取るのて笑われた。煮ている間に戦争当時の荒川区の児童の疎開先の書かれた地図を見せていただいた。

飯坂温泉の方々が知らない子供たちをよく面倒見てくださったものだと感慨を深くした。



用意された旅館は、天皇陛下や皇族方が泊まれた吉川屋。これまたびっくり。いい温泉だった。

次の日は、今回の旅行のメイン、食品モニタリング検査の実態見学。JA のモニタリングセンターで説明を受けた。毎日、400 品目も検査しているとのこと。検査を受けた物はバーコードが貼られスマホなどで見れば検査結果が見られるとのこと。バーコードが貼ってある品物は安全だということ。風評被害を何とか無くそうと涙ぐましい努力をしていることがよく伝わってきた。隣の JA の売店で全員しっかりと買い物をした。

次は福島市名誉市民第 1 号の古関裕而記念館に。ここでハプニング。来館者 60 万人目に社会科見学教室の加納さんがなったのだ。前後の大野さん、柳原さんと共にセレモニーを行った。急遽市長も駆けつけ、新聞社も写真を撮っていた。館の方も荒川区の方がなったので喜んでおられた。福島市と荒川区は姉妹都市なのだ。

最後は四季の里でガラス絵彫り体験。皆真剣にガラスに絵を彫った。こんなに真剣にやったのは小学校以来だ、などという人もいた。

観光課の方にも奇跡的だと驚かれたほど、お天気にも恵まれ無事旅行は終了した。これからも福島への応援をしていきたいと強く思った。

（ 社会科見学教室 太田 諏訪子 ）

◎平成 29 年度新設教室紹介 《 器楽教室 》 講師は、三枝三枝子先生

月曜日午後 1 時～3 時 東日暮里 3 丁目 夕やけこやけふれあい館

< 持っている楽器で合奏しよう > 音符が読めなくても大丈夫です。やさしい身近な曲から始めます。楽器がない方は、鍵盤ハーモニカをお貸しします(6 名迄) 最初と最後に歌を歌い、呼吸を整えます。多くの方のご参加お待ちしております。

(広報部インタビュー)

◎伊藤美代子さん（華道教室に在籍）

「シルバー大学の経歴は長いですよ。華道教室には最初から入っています」とお話が始まりました。57 歳でお勤めを退職しましたので入学しました、とお聞きしましたので、どんなお仕事をされておられたかお伺いしました。大蔵省のタイピストをされておられたとのこと。昔は、国家予算案の時は忙しくて、年末もお仕事をしました、と懐かしそうにお話し下さいました。「今はパソコンですね」と。

警察官を退職した主人もシルバー大学と一緒に入りましたが、男の人は少なかったです。主人は気にしませんでしたから、一緒にダンス教室等に入って楽しく過ごしました。主人が亡くなって 13 回忌も過ぎましたが、楽しかった思い出が沢山あります。主人はシルバー大学その他、水墨画・習字・絵の先生等をして教えたりしていました。



私は長いこと他のコーラスグループにも属していきまして、毎年区民音楽祭にも参加しています。舞台上で歌うことは大変緊張しますが、お揃いのドレスで舞台上で歌うことができとても楽しいです。

「これからは、今のことができることを目標に生きていきます」とおっしゃられました。心にしみました。

.....

2 月の行事

平成 28 年度 学芸会プログラム

期日：平成 29 年 2 月 24 日（金）会場：サンパール荒川 小ホール

NO	教 室 名	内 容	予定時刻
		※ビデオ上映	9 : 20～9 : 50
	開 会 式	挨拶 理事長 岡田芳子	9 : 50～9 : 55
1	輪踊り・民舞	①輝け日本富士山おどり ②東北音頭 ③串本節 ④音頭日本めでた ⑤炭坑節	9 : 55～10 : 25
2	気 功	①自分でできる病気の予防 経穴（ツボ）押 ②皆で楽しく 100 万人の気功「香功（シャゴン）」	10 : 30～11 : 00
3	朗 読	楽しい群読 俳句（与謝蕪村 松尾芭蕉 小林一茶）、詩（いのち がってん音頭）	11 : 05～11 : 45
4	歌声クラブ	1 部 日本民謡 ①黒田節 ②よさこい節 他 2 部 ご当地ソング①知床旅情②北上夜曲 他	11 : 50～12 : 20
	昼 休 み	～休憩～ ※ビデオ上映	1 : 00～1 : 20
5	フラ・ダンス	①月の夜は ②カイマナヒラ ③ナニヴァレオハフ ④レイナニ ⑤パパリナラヒラヒ （カピリナ）	1 : 20～1 : 50
6	日本の話芸	①寿限無 ②早口言葉 ③三人吉三 ④小話アラカルト ⑤火炎太鼓	1 : 55～2 : 25
7	音 楽	①浦のあけくれ ②ラ・メール ③ロマンス ④詩人の魂 ⑤見上げてごらん夜の星を	2 : 30～3 : 00

8	英 語	会話 ①日本の伝統行事 12 ヶ月 ②日本の果物 他 歌 ①テネーワッツ ②聖者の行進 他	3 : 05～3 : 45
9	健 康 体操	①ロザリア ②アメージンググレース ③おもちゃ のチャチャチャ ④シルバー大学八木節 他	3 : 50～4 : 20
	閉 会 式	挨拶 学長 木村國子	4 : 25～4 : 35

◆◆◆◆◆ 1 月 の 学 園 日 誌 ◆◆◆◆◆

- | | | | |
|------|---------------------------|------|---------------------------|
| 7 日 | 荒川警察署武道始め式
副事務局長 山口氏出席 | 23 日 | 29 年度年間日程申請
(区・生涯学習課へ) |
| 11 日 | 常任理事会・役員会 | 24 日 | 高年者クラブ新年会
副事務局長 山口氏出席 |
| 16 日 | 広報委員会編集会議 | 25 日 | シルバーだより 319 号作成 |
| 19 日 | 学芸会打ち合わせ
(サンパール荒川) | | |

※ 事務局だより ※

1. 平成 29 年度募集受付 期日・時間・会場 について

- ① 2 月 3 日 (金) =午後 1 時～3 時、受付会場：第 5 会議室、
自然と小さな旅・今と昔の町歩き・社会科見学・東京近郊ミニ散歩
※上記 4 教室を申し込む方は、同時にパソコンを除く他の教室の申込みが可能です。
- ② 2 月 6 日 (月) =午前 10 : 00～午後 3 : 00 受付：第 5 会議室
- ③ 2 月 7 日～10 日 (火～金) =午後 1 : 00～3 : 00 受付：第 1 会議室
2 月 13 日～17 日 (月～金) =午後 1 : 00～3 : 00 受付：当校事務所
※2/6～17 日はすべての教室の受付が可能です。

- ◆追加申込について：初回の領収書を持参すること。(運営費の重複支払を防ぐ為)
※募集要項をよくお読みになり、申込書にご自分で必要事項を記入の上、
受講料を添えてお申し込みください。
※受付当番の方へ：当日は印鑑《領収書に押印》をご持参ください。
- ◆希望教室が定員を満了し次第、締め切らせていただきます。

2. 水彩画教室 第 22 回発表会のお知らせ

会期：2 月 28 日 (火) ～3 月 6 日 (月)
時間：午前 10 時～午後 6 時 (初日は午後 1 時～、最終日は午後 3 時まで)
会場：町屋文化センター ふれあい広場

3. 荒川ケーブルテレビで当校を紹介、放映！について

■地域情報コミュニティ番組 【あらまるNEXT】

期日：1 月 30 日 (月) ～2 月 5 日 (日)
時間：10ch = 11:30, 15:00, 22:30 11ch = 6:00, 8:30, 13:30
皆さん、ぜひご覧ください。

(事 務 所) TEL3801-5740 FAX3801-5691

(ホームページ) <http://www.arakawa-silver.com/>

室長：田原